

CC-102W

NATURAL SOUND STEREO COMPONENT SYSTEM

取扱説明書・保証書



ご使用前に必ずお読みください

本機の特長

このたびは、ヤマハ・ステレオコンポーネントシステムCC-102Wをお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。CC-102Wの優れた性能を十分に発揮させると共に、長年支障なくお使いいただくために、この取扱説明書をご使用前にぜひお読みくださいますようお願いいたします。

目次

本機の特長	1
豊かなオーディオライフのために	2
プレーヤーを組み立てます	3
本体にプレーヤーとスピーカーをつなぎます	4
アンテナをつなぎます	5
各部の名称とはたらき	7
時計を合わせます	13
レコード演奏を楽しみましょう	14
ラジオ放送やテレビ音声を聞きましょう	16
テープ再生を楽しみましょう(テープ演奏)	17
録音を試みましょう	21
便利なタイマー、使い方をマスターしましょう	27
好きな時間にスイッチ・オフ (スリープ機構のつかいかた)	29
タイマーとスリープ機構を同時に使うと	30
ヘッドホンやマイクのつなぎかたは	31
ほかの機器とも使えます	32
カセットテープについて	33
お手入れは	34
著作権について	35
参考仕様	36
“故障かな?”と思ったら	37
ヤマハ・ホットラインサービスネットワーク	38

1 倍速ダブルリバーステッキ

●テープの両面に連続してダビング(連続複写)ができ、しかも倍速でダビングができます。

●テープ1から2へ、テープ2から1へ、最高8回連続リレーで再生ができます。

2 レコード同時録音

●レコード演奏が始まると同時に、自動的にテープ2へ録音ができます。

3 ステレオ音声多重テレビチューナー

●テレビの音声(1~12ch)を、ステレオ放送や、音声多重(2ヶ国語)放送で聞くことができます。

4 6つの使いかたができるデジタルタイマー

●目覚ましタイマーを使って、音楽などでさわやかなお目覚めができます。

●スリープタイマーを使って、音楽などを聞きながらおやすみになれます。

●目覚まし、スリープタイマーを同時に使うと、音楽を聞きながらおやすみになれ、翌朝には目覚ましとして使えます。

●ラジオ放送やテレビ音声を、好きな時間に

録音(留守録音)ができます。

●時計として使えます。

●テープ2のテープカウンターとして使えます。

5 目にやさしいインジケーター

●入力切換ボタンに合わせて一目でわかるように美しく光って表示します。

6 音質も思いのまま

●実用最大出力20W+20W(EIAJ)。

●3素子グラフィックイコライザー内蔵。

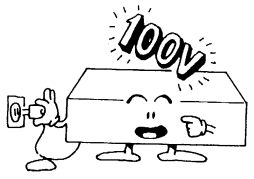


これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

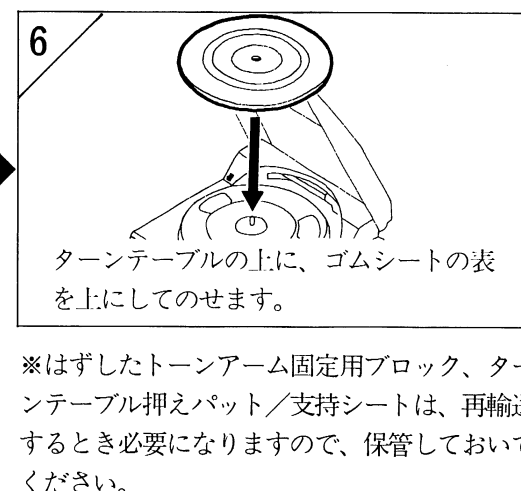
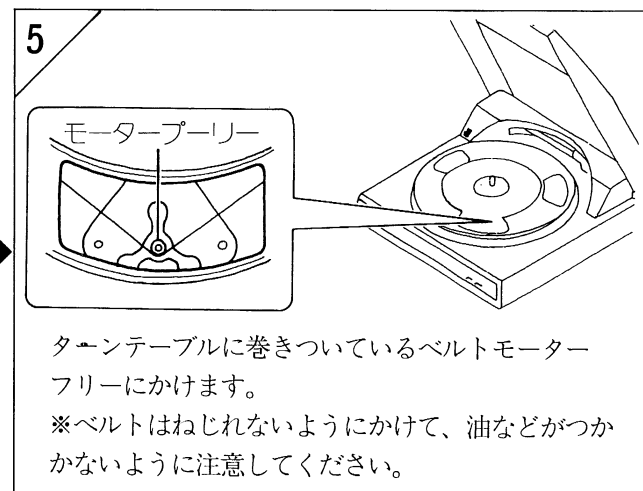
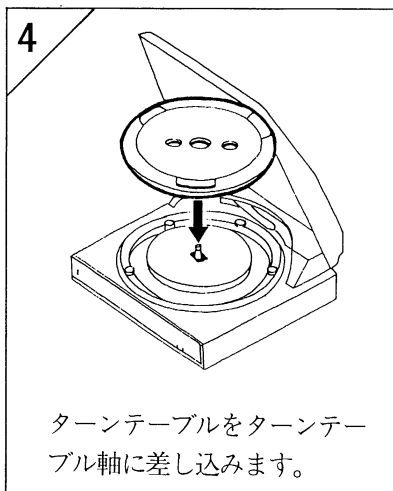
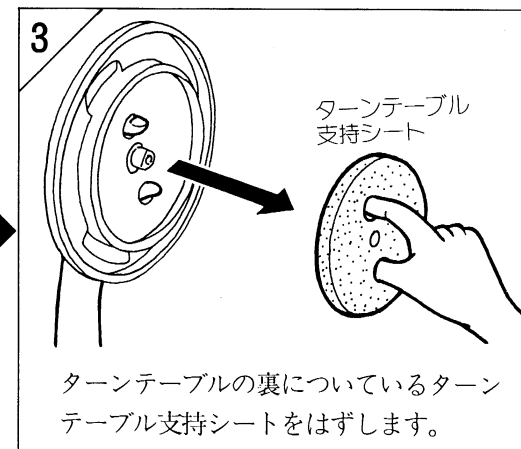
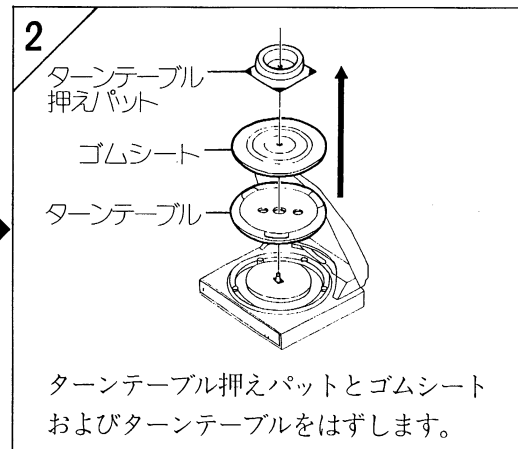
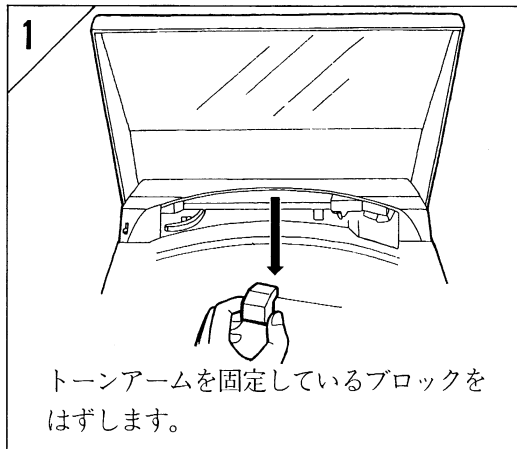
豊かなオーディオライフのために

<p>高い温度になる場所はさけて</p> 	<p>低い温度になるところはさけて</p> 	<p>ほこり・水気はさけて</p> 	<p>家庭用100V電源をつかって</p> 
<p>傾いたり、不安定なところにおかないで</p> 	<p>化学薬品を使わないで</p> 	<p>開けないで</p> 	<p>コンセントはぬき方に注意して</p> 
<p>古くなったレコード針はつかわないで</p> 	<p>カセットテープにも気をつけて ※カセットテープについては33ページを ごらんください</p> 	<p>保証書の手続きを</p> 	<p>取扱説明書と保証書はたいせつに</p> 

■使用上の注意

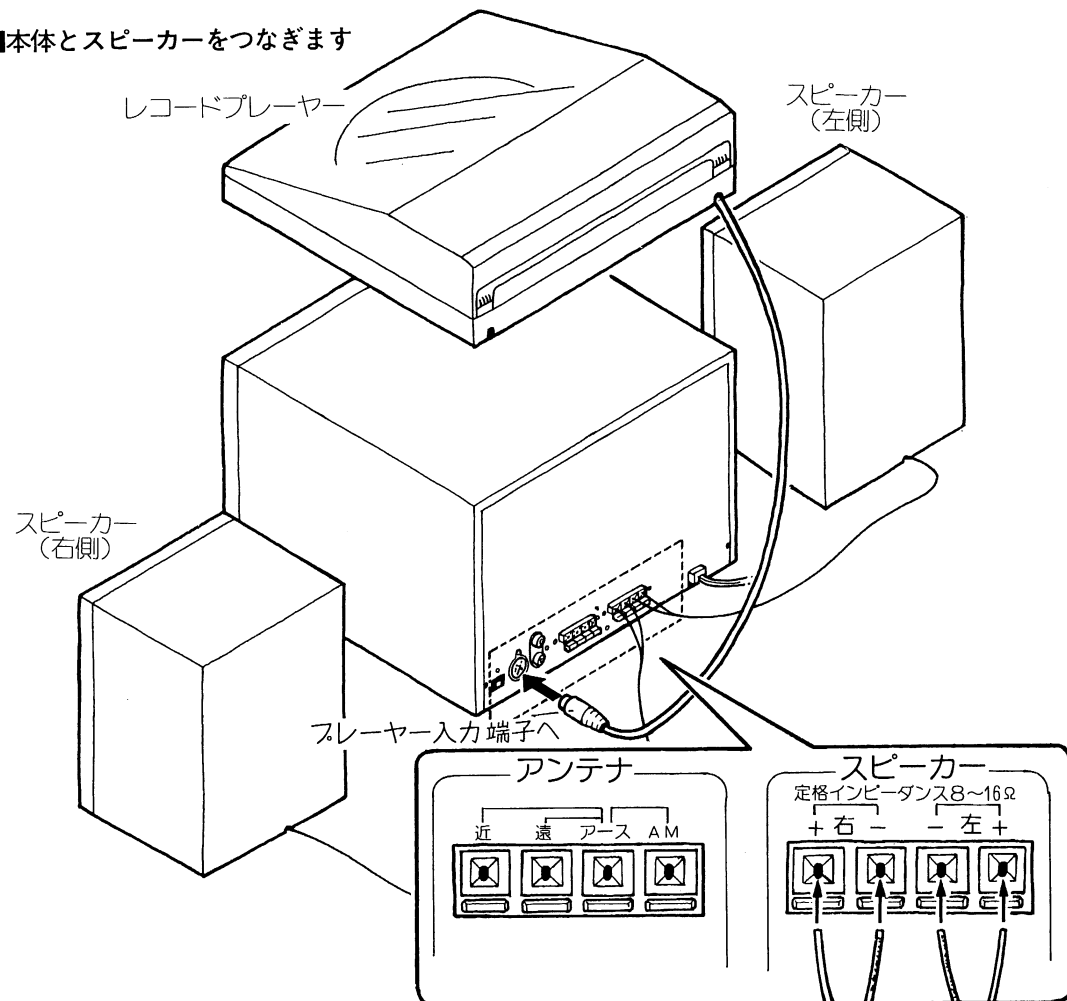
- マイコン使用製品のためお使いになる前は、必ず電源プラグをコンセントに差し込んでから、カセットテープをカセットホルダーに入れてください。先にカセットテープを入れるとカセットホルダーが開かなくなることがあります。
- 使用中に正しく動作しなくなったときは、電源スイッチを“切/スリープ”にしたあと、もう一度電源スイッチを“入”にしてください。

プレーヤーを組み立てます

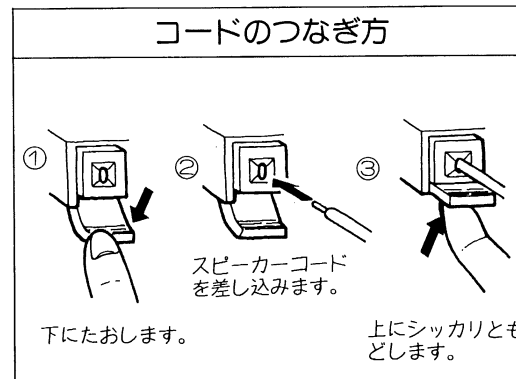


本体にプレーヤーとスピーカーをつなぎます

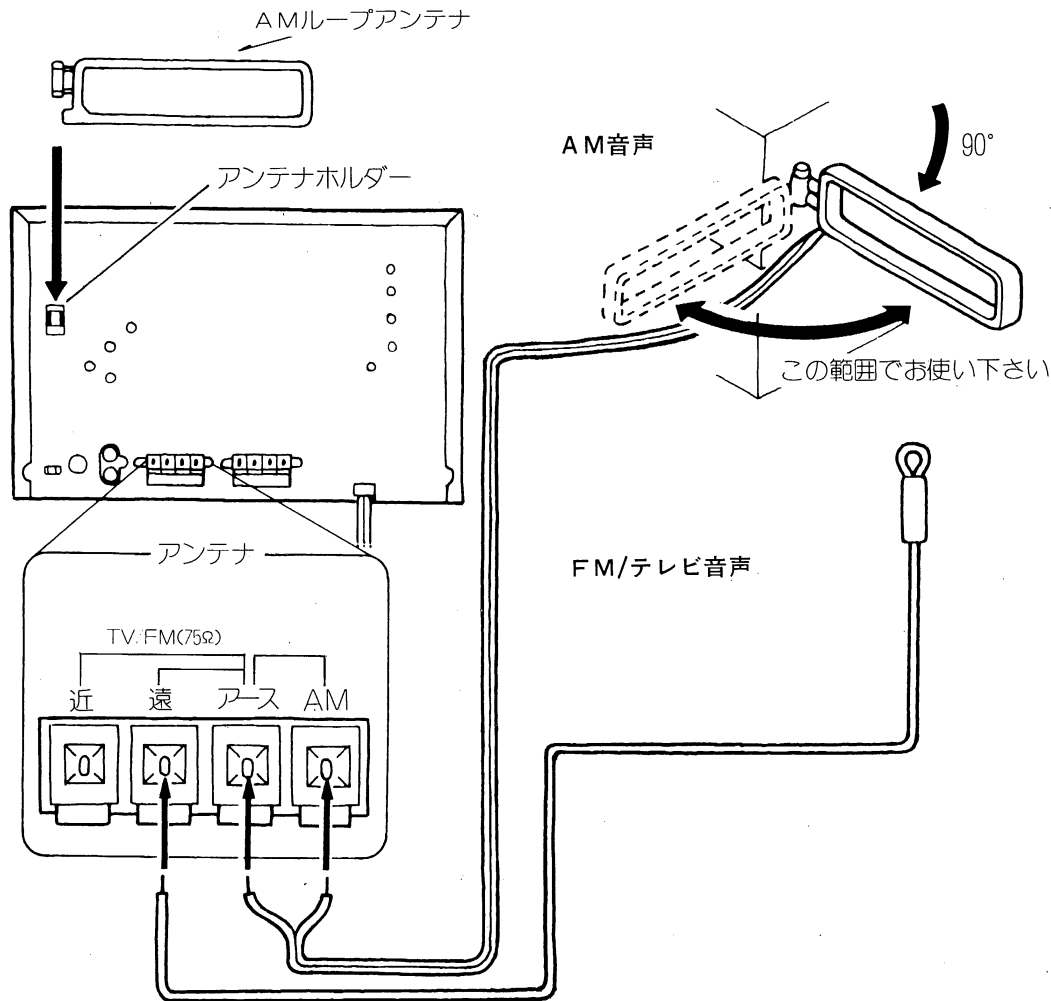
■本体とスピーカーをつなぎます



- スピーカーコードはプラス、マイナスを正しくつないでください。
- ※スピーカーコードの被覆の表面に文字の印刷されているコードが⊖(マイナス)です。
- プレーヤーとスピーカーはなるべく離して置いてください。近すぎるとハウリング (ワーンという音) をおこすことがあります。
- インピーダンスが8Ω未満、最大入力20W未満のスピーカーはつながないでください。



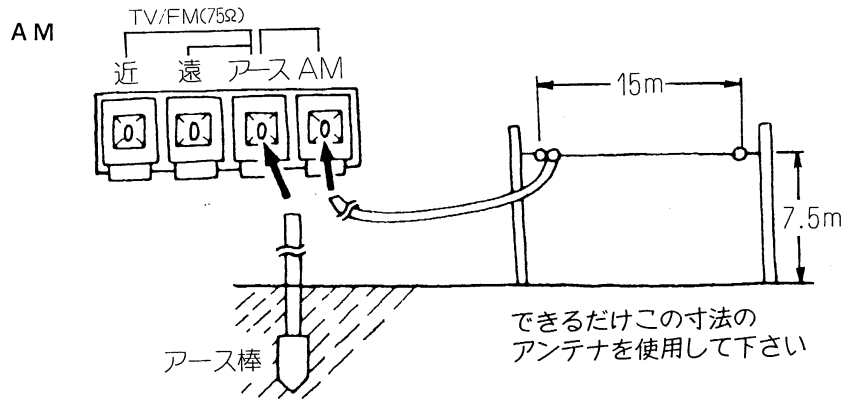
アンテナをつなぎます。



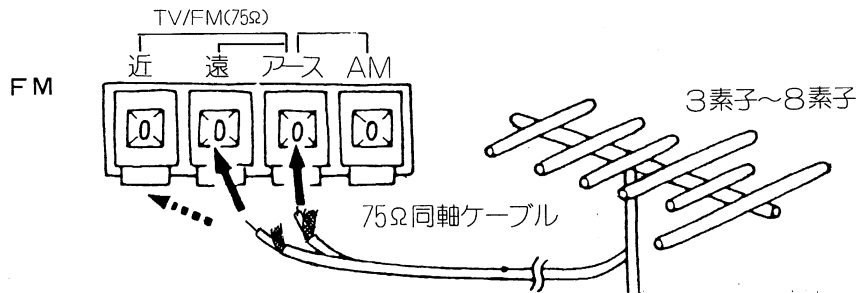
付属のAMループアンテナを本体の背面のアンテナホルダーに取り付けて、背面から90°以上離し最もきれいに聞こえる方向にします。

付属のFMアンテナをひずみや雑音の少ない最もきれいに聞こえる位置に、押しピンなどで固定します。

それでも放送がよく聞こえない場合は



附属のアンテナを使用してもきれいに聞こえないときは、市販の屋外アンテナを屋根または地上に張ります。アース線をつなぐと更に感度が良くなります。
※アース線は絶対ガス管につながらないでください。



附属のアンテナを使用してもきれいに聞こえないときは、市販の屋外アンテナを使い、最もよく受信できる高さ、位置、方向に固定します。
※普通は“遠”の端子につないでおきますが、放送局の近くは電波が強いため音声のとぎれたり、雑音が入ることがありますので、そのときは“近”の端子につなぎます。

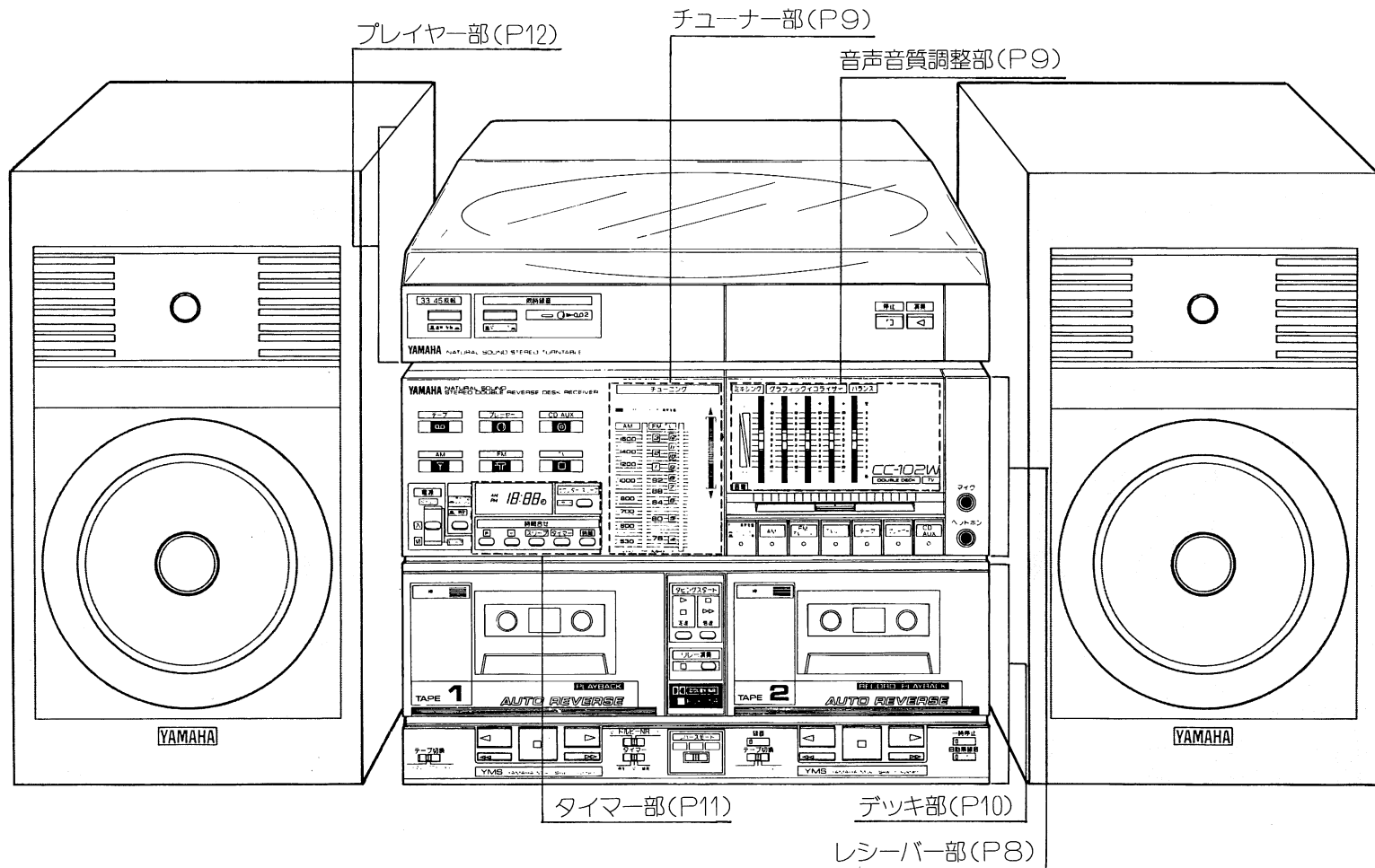
■電源コードをつなぎます。

電源スイッチを“切/スリープ”にしたあとつなぎます。“入”になったままつなぐと正しく動作しないことがあります。
※家庭用AC100V(50Hz, 60Hz)以外のコンセントにはつながらないでください。

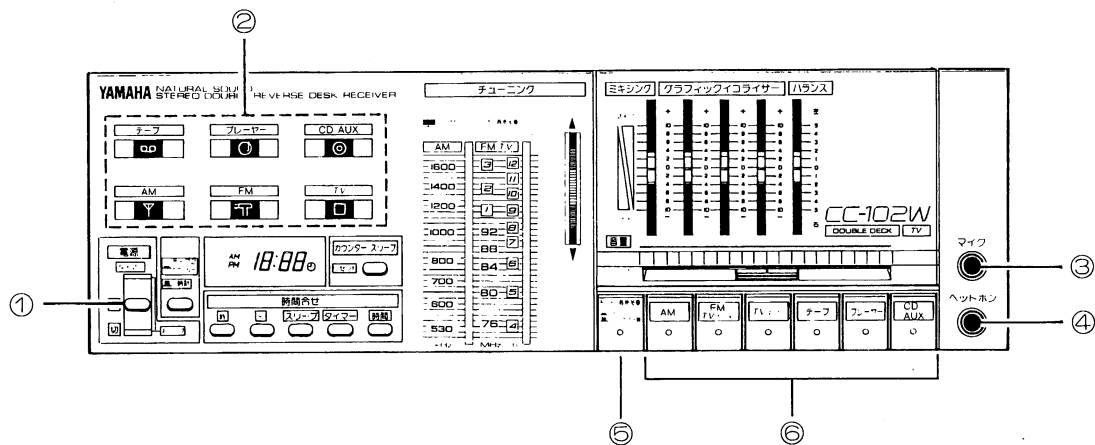
■屋外アンテナを立てるときは

- 送電線の下は危険ですので避けてください。
 - あまり高い所は落雷のおそれがありますので立てないでください。
 - 道路や線路の近くは雑音が入りやすいので、なるべく離してください。
- ※屋外アンテナをたてる時は、販売店におたずねください。

各部の名称とはたらき



■レシーバー部



①電源スイッチ

放送や演奏を聞くととき“入”にします。タイマーを使うときは“タイマー”、スリープ機構を使うときは“切/スリープ”にします。

②入力インジケータ

入力切替ボタンに合わせて表示されます。

③マイク端子

マイクをつなぎます。

④ヘッドホン端子

ヘッドホンをつなぎます。※ヘッドホン使用中は、スピーカーからの音

は聞こえません。

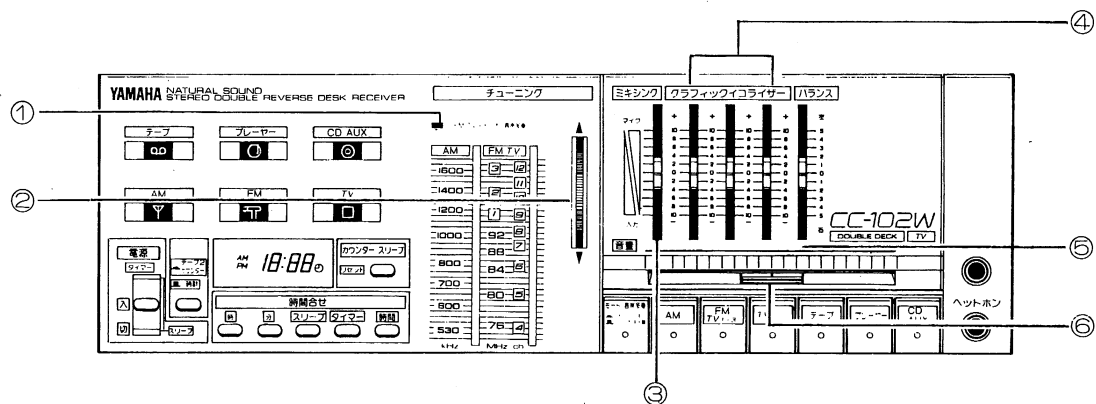
⑤モード/音声多重切替スイッチ

FM放送やテレビ音声をステレオ、モノラルに切換えたり、テレビの音声多重放送を主音、主音+副音に切換えます。

⑥入力切替ボタン

聞きたい放送や演奏に合わせてそれぞれのボタンを押します。

■ チューナー部/音量音質の調整部



①FM/TVステレオ音声多重インジケーターステレオ放送や音声多重放送を受信するときは、

②同調つまみ

ラジオやテレビの放送を選局するとき使います。

③ミキシングつまみ

マイクと入力（ラジオ、テレビ、レコード、テープなど）の音量のバランスを調整します。

※マイクを使わないときは“入力”にしておきます。

④グラフィックイコライザー

音質を調整するときに使ひ、つまみを上にするとそれぞれの周波数付近が強くなり、下にすると弱くなります。

100Hz ベースギターやドラムなどの重量感ある低音部を強調できる音域です。

1 Kz 人の声や音楽を聞くのに基礎になる音域で、音のメリハリを調整します。

10KHz シンバルやトライアングルなどの、ハグレの良い澄んだ高音部の響きを調整

する音域です。

●音質の調整は、聞くときにも、録音するときにも働きます。

●ダビングボタンを使ってテープをダビングするときは、働きません。

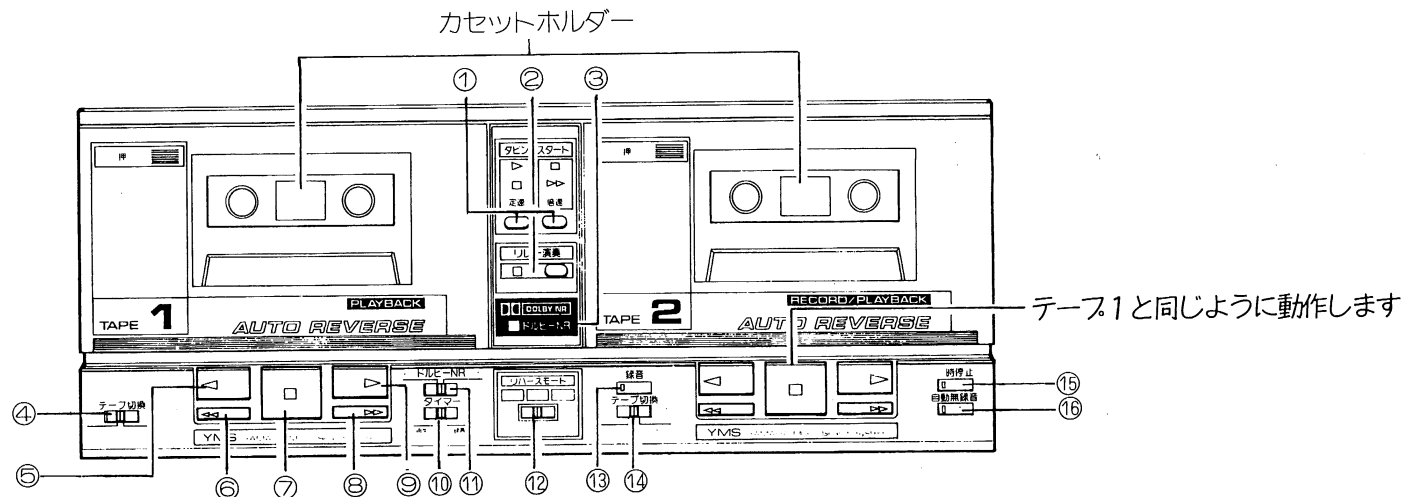
⑤バランスつまみ

左右の音量のバランスを調整します。

⑥音量つまみ

音の大きさを調整します。

■デッキ部



①ダビングボタン

定速でダビング（複写録音）するときには“定速”のボタンを、急ぎのダビングは“倍速”のボタンを押します。

●ダビング中はボタンの上のインジケーターが つきます。

②リレー演奏ボタン

テープ1から2へ、テープ2から1へ、リレーで演奏するとき押します。

●ボタンを押すと左のインジケーターが付き、もう一度押すと消えます。

③ドルビーNRインジケーター

スイッチを“入”にするとつきます。

④テープ1 テープ切換スイッチ

テープ1で使うテープの種類に合せます。

⑤テープ1再生ボタン

テープの裏の面を聞くとき押します。

⑥テープ1早送りボタン

テープを早くすすめるとき押します。再生中に押すとYMSが働き、次の曲が始まります。

⑦テープ1停止ボタン

テープを止めるときに押します。

⑧テープ1早送りボタン

テープを早くすすめるとき押します。再生中に押すとYMSが働き、次の曲が始まります。

⑨テープ1再生ボタン

テープの手前の面を聞くとき押します。

⑩タイマー再生／録音スイッチ

タイマーを使って、好きな時間に再生や録音をするとき使います。

⑪ドルビーNRスイッチ

ドルビーNRシステムを働かせるとき使います。

⑫リバースモードスイッチ

テープ1、2の片面や両面を聞くとき、また両面をくりかえし聞くとき切替えます。

※くわしくは、17ページをごらんください。

⑬テープ2録音ボタン

録音するとき押します。

⑭テープ2 テープ切換スイッチ

テープ2で使うテープの種類に合せます。

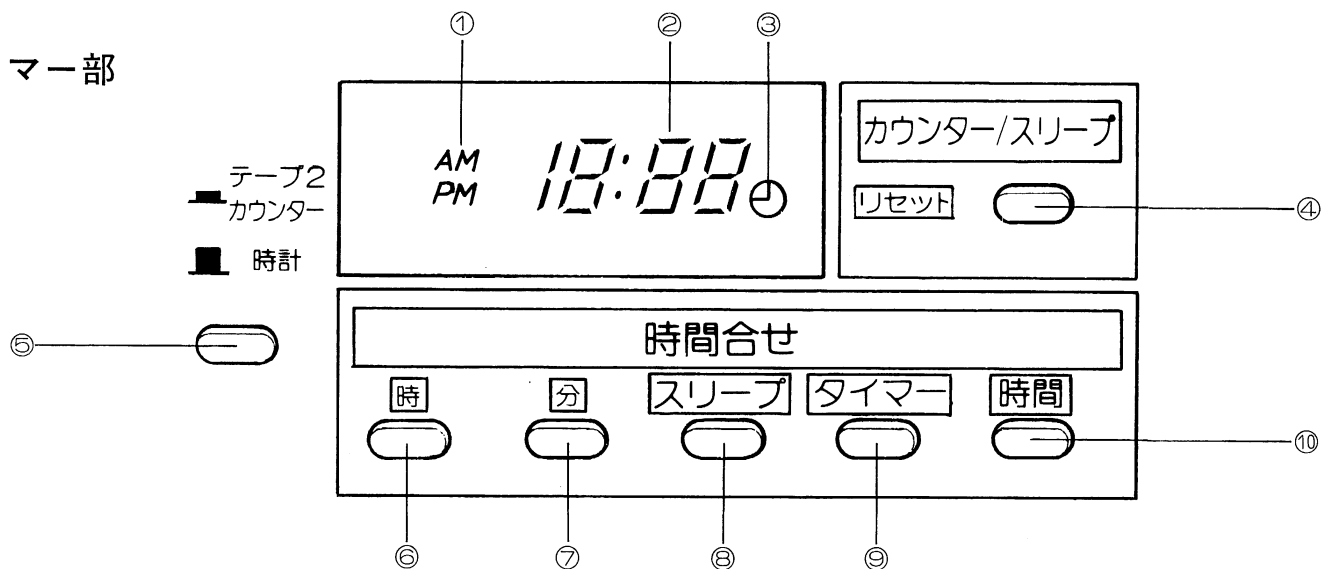
⑮テープ2一時停止ボタン

再生や録音を一時停止させるとき押します。

⑯テープ2自動無録音ボタン

録音中に押すと、YMSのための曲間(約4秒)を自動的に作ります。

■タイマー部



①AM/PMインジケータ

午前はAM、午後はPMが表示されます。

②時間表示部

現在時刻、タイマー時刻、スリープ時間および、テープ2のテープカウンターが表示されます。

③タイマーインジケータ

電源スイッチを“タイマー”にすると点灯し、タイマーが働いているときは点滅します。

④カウンター/スリープリセットボタン

テープカウンターの数字を“000”にもどしたり、スリープを途中で解除するとき押します。

⑤テープカウンタースイッチ

時間表示部を、テープ2のテープカウンターとして使うとき押します。

※タイマーやスリープ動作中は動きません。

⑥“時”ボタン

時刻やタイマーの“時”を合せるとき、“時間”ボタンと一緒に押します。

⑦“分”ボタン

時刻やタイマー、スリープの“分”を合せるとき、“時間”ボタンと一緒に押します。

⑧スリープボタン

スリープの時間を合せるとき使います。

※スリープについては、29ページをごらんくだ

さい。

⑨タイマーボタン

タイマーの開始時刻を合せるとき使います。

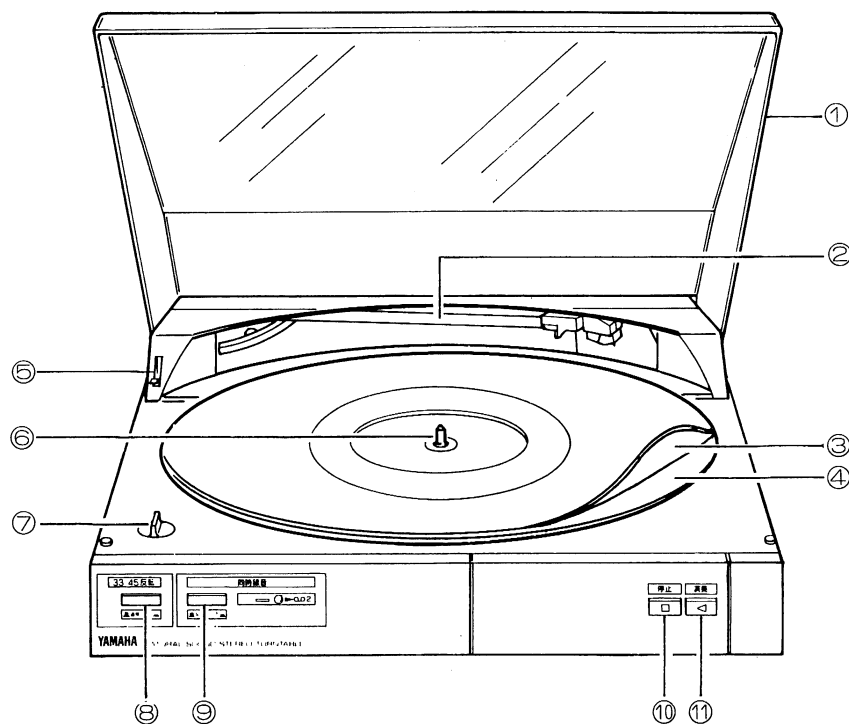
※タイマー（目覚まし）については、27ページをごらんください。

⑩時間ボタン

時刻を合せるとき、“時”や“分”のボタンと一緒に押します。

※時刻の合せかたについては、13ページをごらんください。

■プレーヤー部



①ダストカバー

②トーンアーム

③ゴムシート

④ターンテーブル

⑤キューレバー

このレバーを立てるとトーンアームが上がり、たおすと下がります。

⑥ターンテーブル軸

⑦サイズ/スピードつまみ

レコードのサイズに合わせて切換えます。

⑧スピード反転ボタン

普通のレコードを聞くときは、“標準■”にしておきます。特殊なレコード(45回転のLP、33 $\frac{1}{3}$ 回転のEP)を聞くときは、“反転■”にしてレコードの回転数を切換えます。

⑨同時録音ボタン

レコードの演奏を、同時に録音するとき押します。“入■”になると右のインジケータがつきます。

⑩停止ボタン

演奏を中止するとき押します。

⑪演奏ボタン

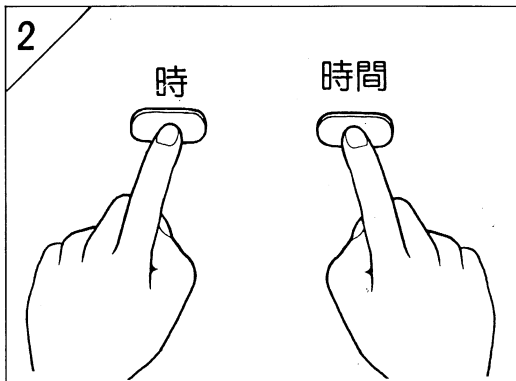
このボタンを押すと、自動的にトーンアームがセットされ演奏を始めます。

時計を合わせます

●電源コードをつなぐと時間表示部は秒表示になります。

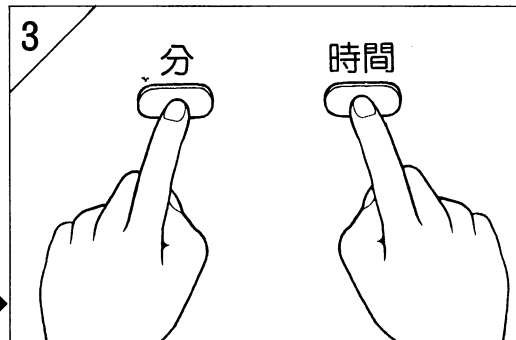
1 “時間” ボタンを押して時刻の表示にします。

2



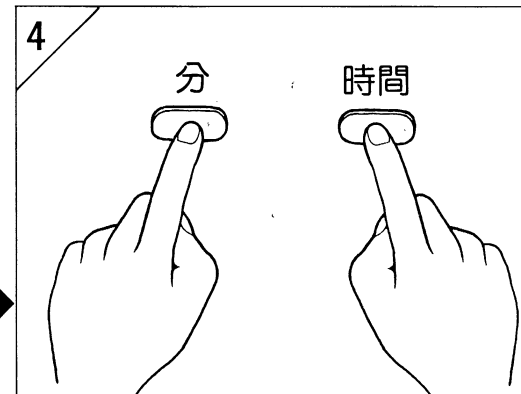
“時間” ボタンを押しながら、“時” ボタンを1回押すと1時間進み、押し続けていると連続して進みます。このように現在の時刻に合わせてください。

3



“時間” ボタンを押しながら、“分” ボタンを1回押すと1分進み、押し続けていると連続して進みます。現在時刻の1分前に合わせます。
※分表示が、“59”から“00”になっても時間表示は、変わりません。

4



“時間” ボタンを押しながら時報と同時に“分” ボタンを押して離します。

●時計は電源スイッチを“切/スリープ”にしても動いています。

※電源スイッチが、“入”のときテープカウンタースイッチが“入”になっていると、時間は、表示されませんので、“切”にして時計の表示にしてください。

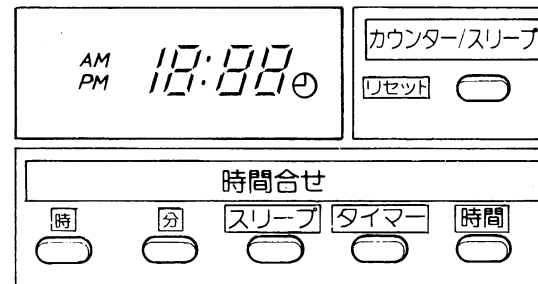
●AM/PMについて

AM12:00は夜の12時

PM12:00は昼の12時

●停電の場合

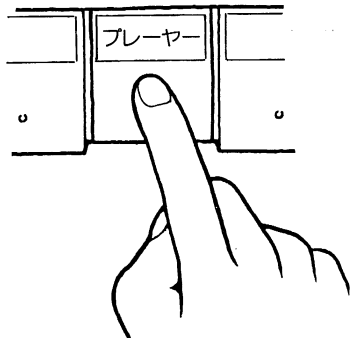
停電になると時計表示が消えます。停電が回復すると、時間表示部は秒表示に変わりますので、もう一度時刻を合わせ直してください。



レコード演奏を楽しみましょう

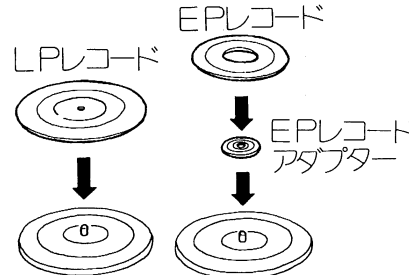
変形したり、いたんでいるレコードは使わないでください。

1



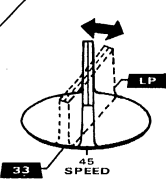
電源スイッチを“入”にします。
プレーヤーボタンを押します。

2



演奏したいレコードをのせます。EPレコード（ドーナツ盤）を聞かるときは、EPレコードアダプターを使います。


3



サイズ/スピードつまみを、レコードのサイズ（LP、EP）に合わせて切替えます。

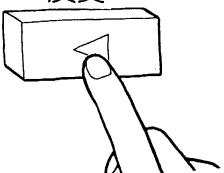
33/45反転

普通のレコードは“標準”に、EPで33 $\frac{1}{3}$ 回転や、LPで45回転のレコードのときだけ“反転”にします。



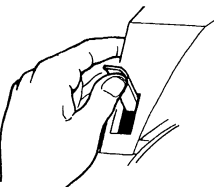
4

演奏



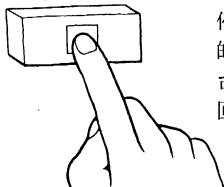
演奏ボタンを押します。自動的にトーンアームがセットされ、演奏を開始します。お好みの音に調整してお聞きください。

*演奏を一時中断するとき



キューレバーを立てると針先はレコード面から離れますが、レコードは回転したままです。再び演奏するにはキューレバーを手前にたおします。

停止

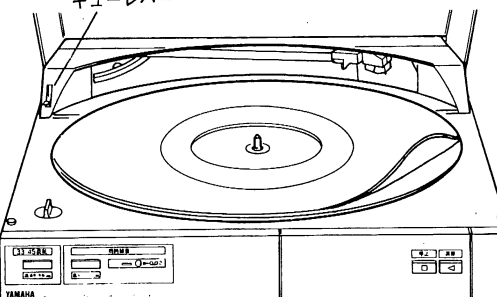


*演奏を途中で中止するとき

停止ボタンを押すと自動的にトーンアームが固定台にもどり、レコードの回転が止まります。

キューレバーはたおしておきます

キューレバー



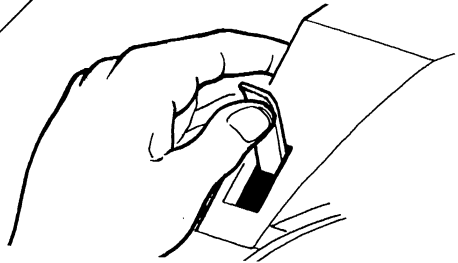
●最後の曲の演奏が、終わると自動的にトーンアームが、固定台にもどり、レコードの回転も止まります。

■30cm(LP)や17cm(EP)以外のレコードを聞くときには

1

14ページの1～3の操作をします。
●25cmレコードは、“サイズ/スピード”つまみを“LP”にします。

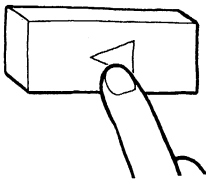
2



キューレバーを立てます。

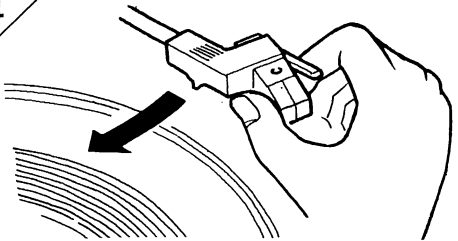
3

演奏



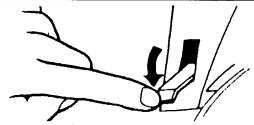
演奏ボタンを押します。
●トーンアームが自動的にLPの演奏開始位置まで出てきて止まります。

4



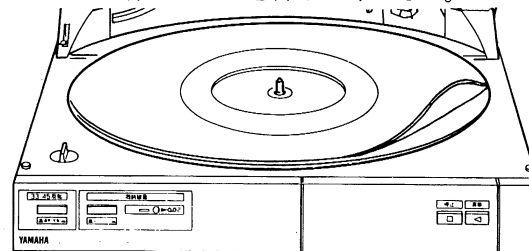
針先をお望みの位置まで移動します。

5



キューレバーをたおします。
針先がレコード面におりて、演奏が始まります。トーンアームが下ったとき、針先がレコードからはずれないように注意してください。

●規格外のレコードは演奏が、終わってもトーンアームが固定台へ戻らないことがあります。そのときは停止ボタンを押してください。



■プレーヤーを使うときの注意

- 移動したり傾けるときは、トーンアームを固定してください。衝撃でトーンアームが固定台に戻らなくなることがあります。
- 手でターンテーブルを回したり、止めたり、無理にトーンアームを動かさないでください。

- レコードをのせていないときや、レコードのサイズをまちがえて切換えたときは、演奏◀ボタンを押さないでください。まちがって押したときは、すぐキューレバーを立ててください。
- 電源スイッチが“切/スリープ”のとき演奏ボ

タンを押さないでください。“入”にしたときにターンテーブルが回りトーンアームが動き出します。もし動き出したときは、すぐにキューレバーを立てて停止ボタンを押してください。

ラジオ放送やテレビ音声を聞きましょう

1

AM放送を聞くにはAMボタンを押します。

FM放送やテレビの1～3チャンネルの音声を聞くにはFM(TV1～3CH)ボタンを押します。

テレビの4～12チャンネルの音声を聞くにはTV(TV4～12CH)ボタンを押します。

2

聞きたい放送局を選局します。

3

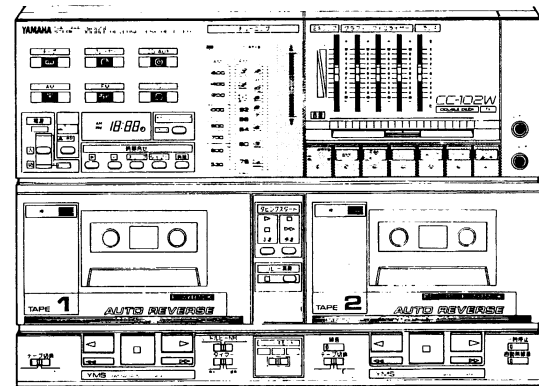
FM放送やTV音声をステレオ音声多重放送で聞くと、**“ステレオ/主+副 ■”**にします。

●音声多重放送を受信すると“ピー”という小さな雑音ができることがあります。そのときは、“モノラル/主 ■”にするか、同調つまみを少しまわしてください。

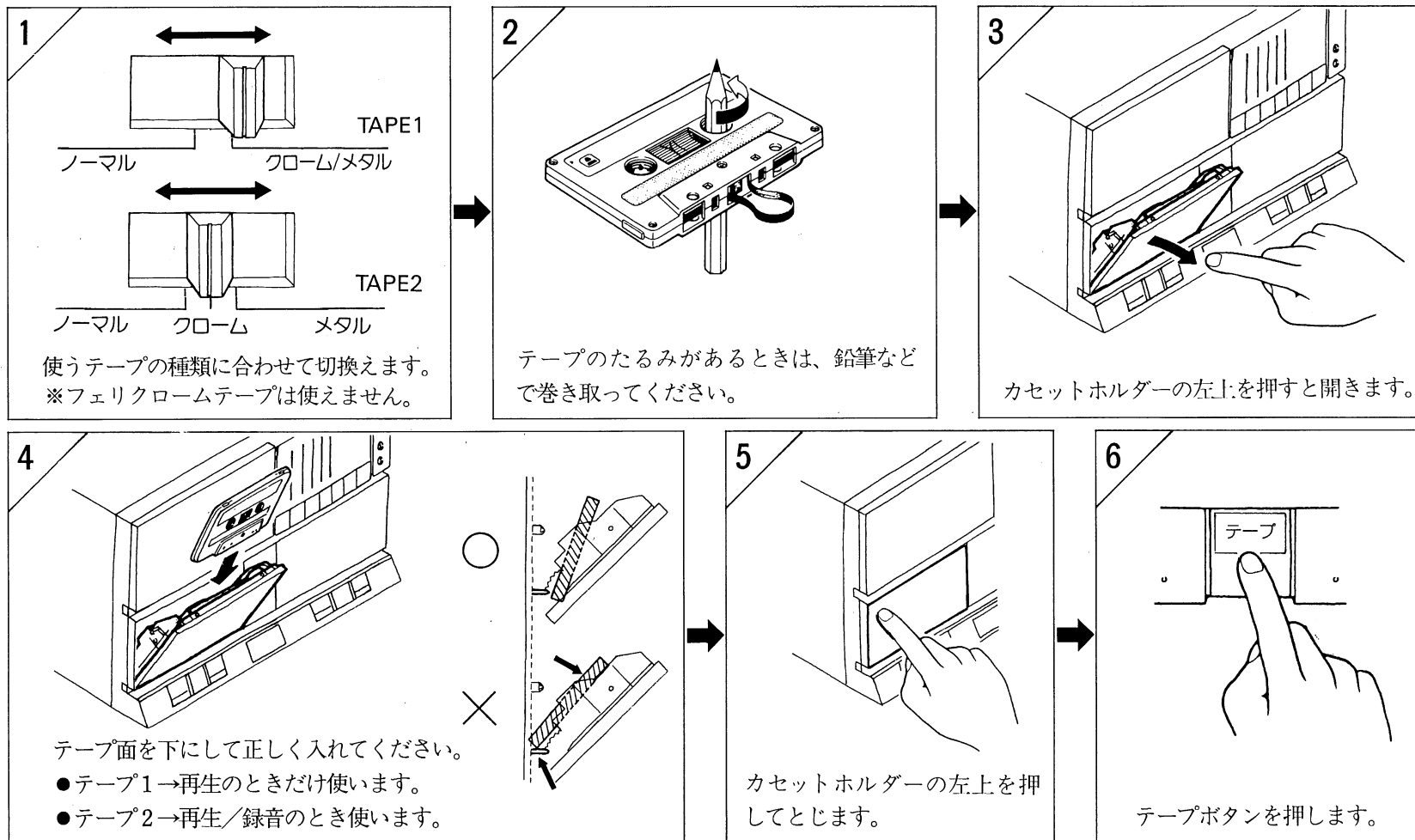
●テレビやアンテナのそばでテレビ音声を受信すると、テレビの画面に影響を与えることがありますので、できるだけ離してお使いください。

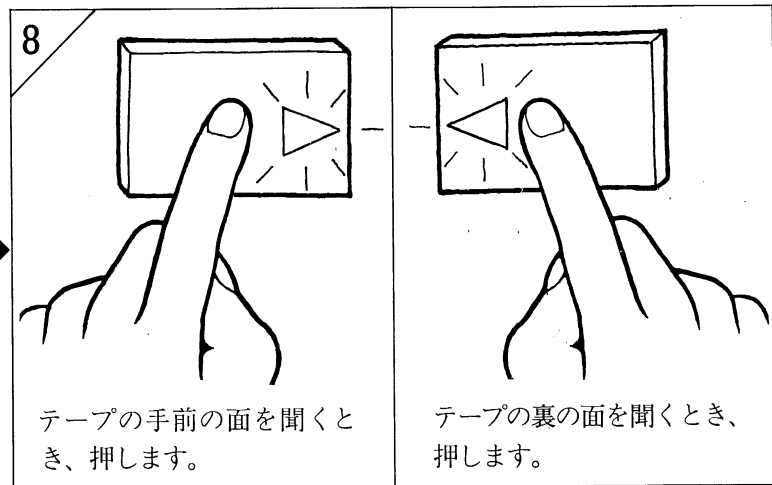
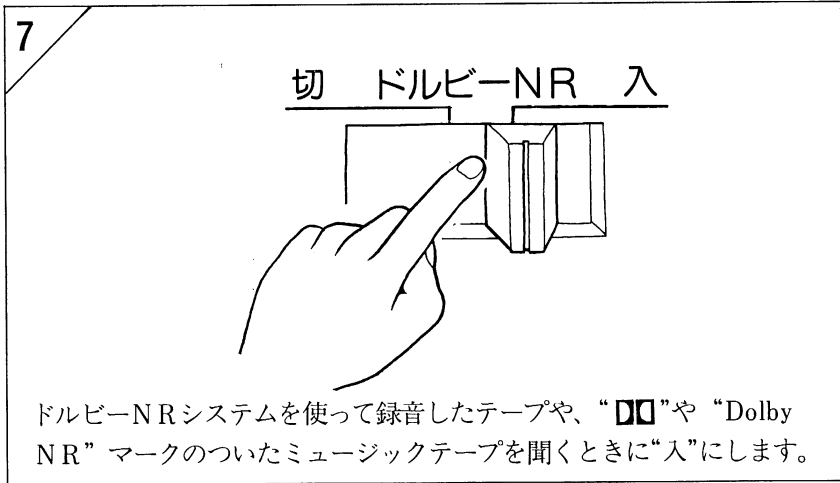
テレビの音声多重放送		
	■ ステレオ全+副	■ モノラル/全
ステレオ放送	ステレオで聞こえます。	モノラルで聞こえます。
音声多重放送	左スピーカーから主音声(番組本来の音声)、右スピーカーから副音声(二ヶ国語放送の外国語や解説など)が聞こえます。	両方のスピーカーから主音声(番組本来の音声)が聞こえます。

※テレビのステレオ放送や音声多重放送を受信しているときはモード/音声多重切換スイッチをモノラル/主にしても、インジケータは消えません。

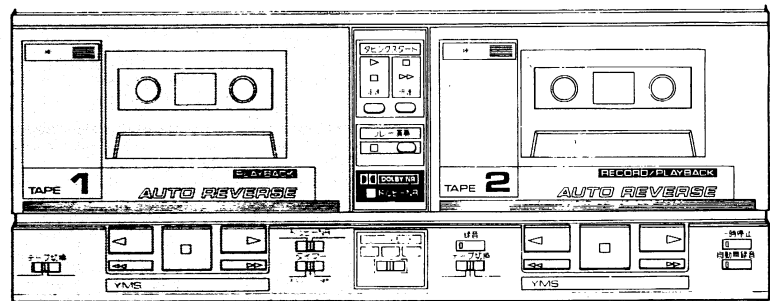
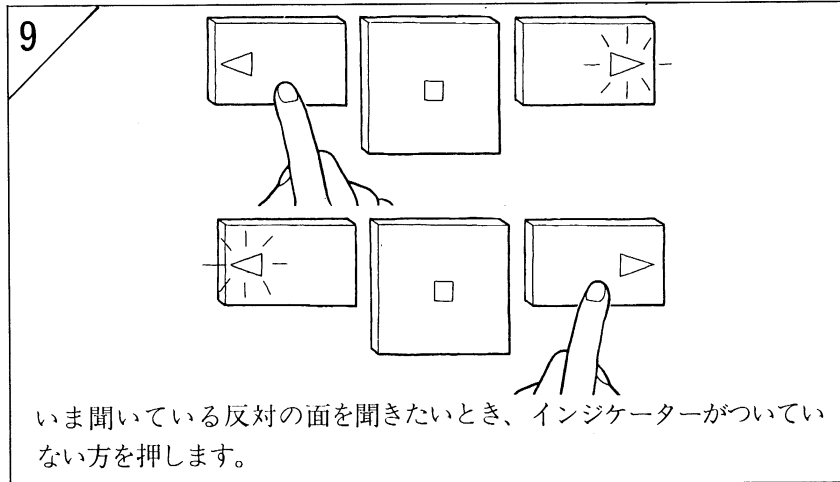


テープ再生を楽しみましょう (テープ演奏)



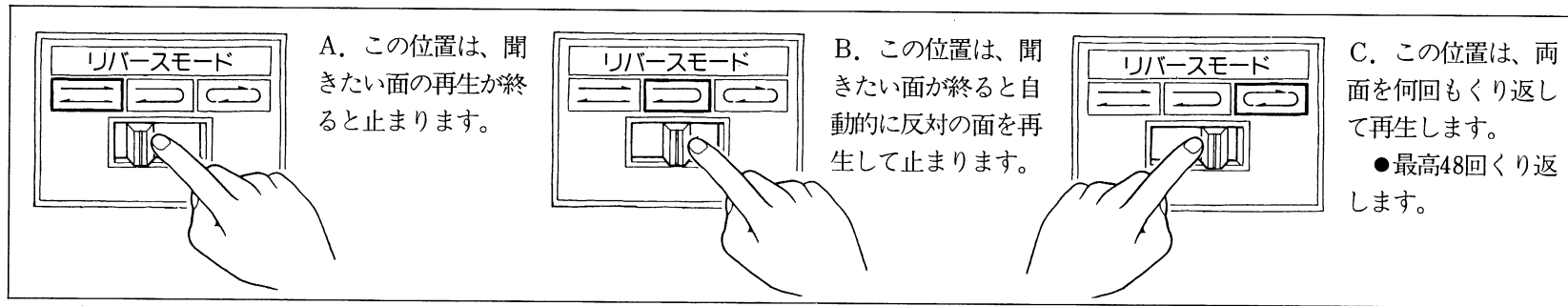


ドルビー-NR及び“**DD**”はドルビー研究所の登録商標です。



■リバースモードについて

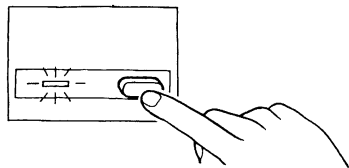
リバースモードは再生前に選びますが、再生中でも切換えることができます。



■リレー演奏をするには

テープ1が終るとテープ2、テープ2が終わるとテープ1へとリレーで再生することができます。

- ①テープ1とテープ2の両方に聞きたいテープを入れます。
- ②リレー演奏ボタンを押すとインジケータがつきます。



- ③リバースモードを選びます。
☐の位置は、テープの片面を再生してから、リレーでもう一方のテープの片面を再生します。
- ☐の位置は、テープの両面を再生してから、リレーでもう一方のテープの両面を再生します。
- ☐の位置は、それぞれのテープの両面をくり返し(最高8回)リレーで再生します。
- ④先に聞きたい方の再生ボタンを押します。

※リレー演奏をやめたいときは、リレー演奏ボタンをもう一度押します。インジケータは消えます。

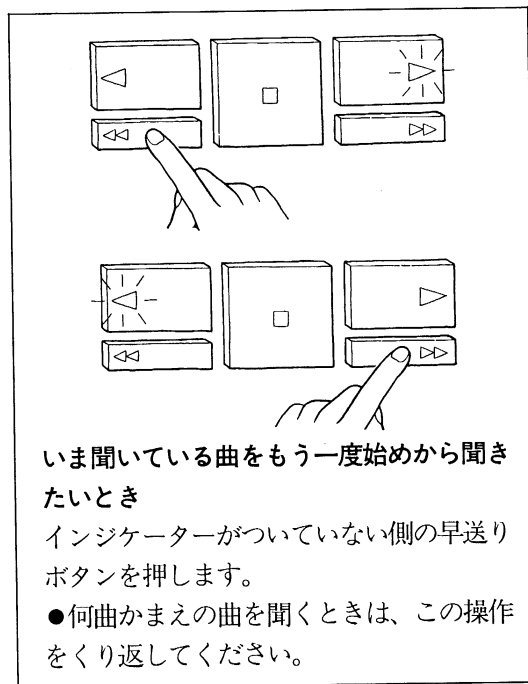
※リレー演奏中に、再生していない方のテープを新しく聞きたいテープと入れ換えることができます。

※テープ1とテープ2の両方にテープが入っていないとき、リレー演奏ボタンを押してもインジケータはつきません。

※リレー演奏は、前に再生をしていた面の再生を自動的に始めます。

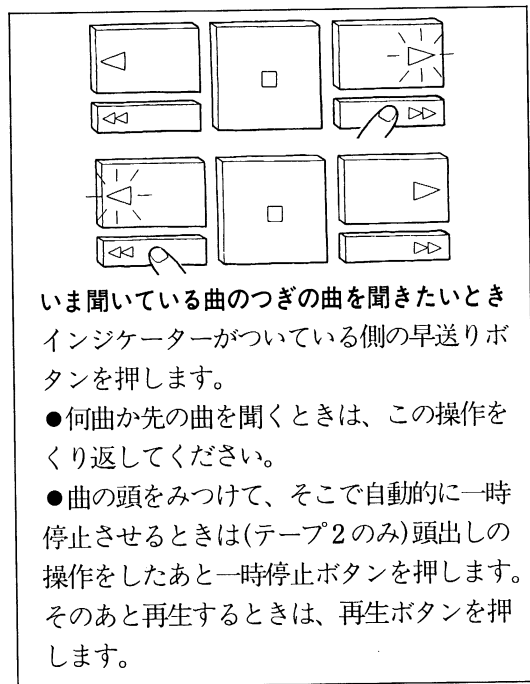
■自動頭出し演奏 (YMS) のしかた

YMSは、テープに録音されている曲の始めの部分を見つけだし、お聞きになりたい曲の始めから自動的に演奏をする機構です。



■自動頭出しがはたらかない

YMS機構は、ミュージックテープの無録音部分を見つけだすことにより動作します。つぎのようなテープは正常に動作しないことがあります。



す。

- ①会話・落語など音声途切れているテープ。
- ②音楽でピアノシモの部分(音が非常に小さい)

が長く続いたり、曲中に演奏や歌声が入っていないテープ。

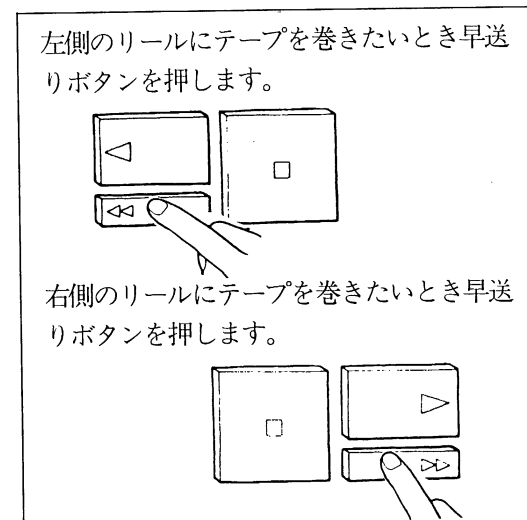
③曲全体の録音レベルが低いテープ。

④曲間が短い(4秒以下)テープ。

⑤曲間に大きな雑音や、ハムが録音されているテープ。

■テープを早送りするときは

テープが動いているときは一旦停止ボタンを押してください。



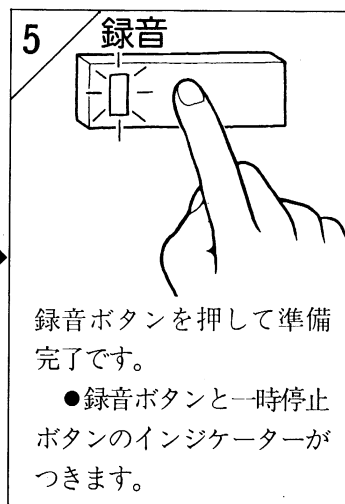
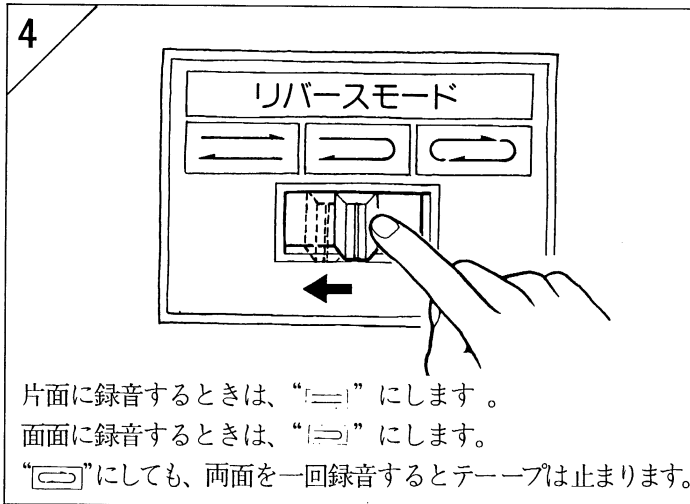
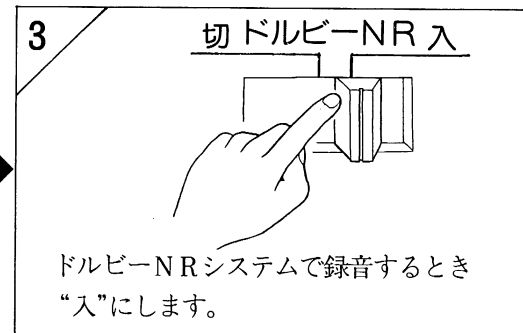
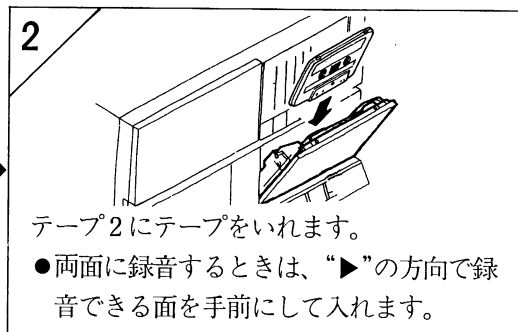
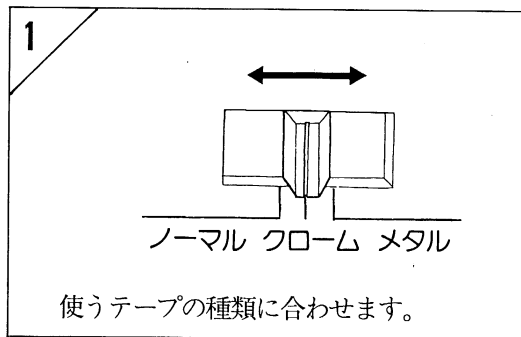
途中で早送りを中止するときは、停止ボタンを押します。

録音をしてみよう

●あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

■録音の準備をしましょう。

●録音中の音の大きさは、自動録音レベル調整回路によって調整されますので、音量つまみを動かしても録音には影響ありません。



⑥録音したいものを演奏してみてグラフィックイコライザーでお好みの音質に調整しておきます。(くわしくは、9ページ)

- ラジオ放送やテレビ音声の録音 →22ページ
- レコードの録音、同時録音 →23・25ページ
- ダビング(複写録音) →24・25ページ

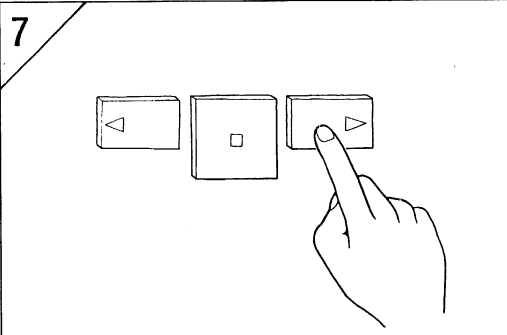
■ラジオ放送やテレビ音声を録音するには
21ページの録音の準備をします。

6

ラジオ放送やテレビ音声を受信します。
いちばんきれいな音が出るように同調つまみで調整しましょう。

- くわしくは16ページをごらんください。

7

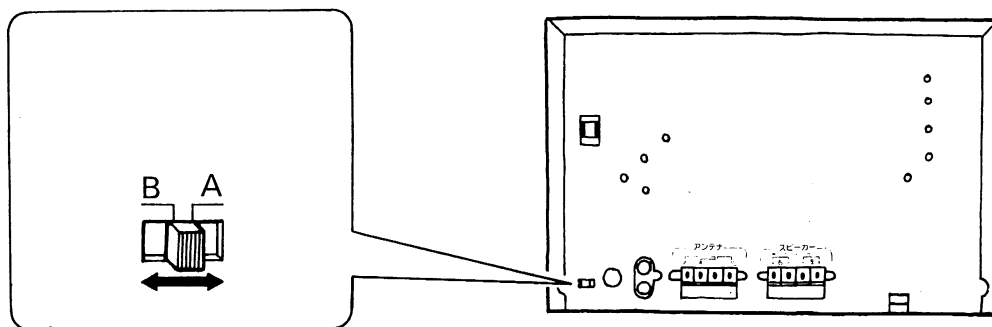


録音したい面のボタンを押します。

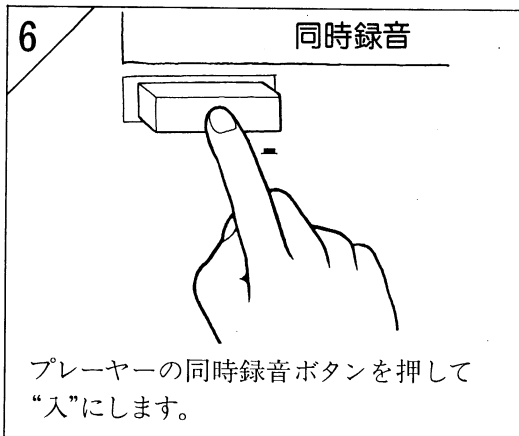
- 両面に連続録音するときは、“▶”のボタンを押します。必ず“▶”の方向から録音を始めてください。もし“◀”から始めると、両面録音はできません。
- コマーシャルや録音したくない部分をカットしたいときは一時停止ボタンを押します。その部分がおわったら、インジケーターがついている方の再生ボタンを押すと、再び録音を始めます。
- 録音をやめるときは、テープ2の停止ボタンを押します。

■AM放送録音中にビート音（ピーという雑音）が出たときはこうして
本体のうしろにあるビートキャンセルスイッチを“A”または“B”に切換えて、ビート音がでない（または少ない）位置にしておきます。

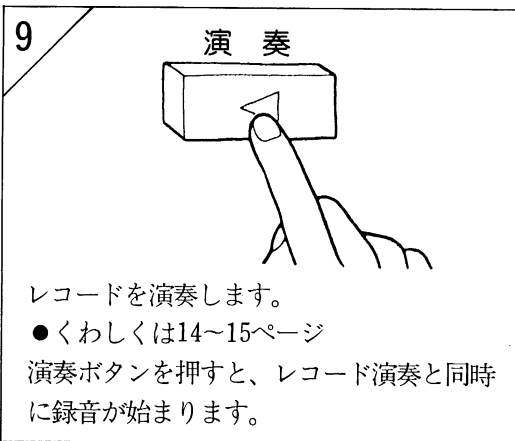
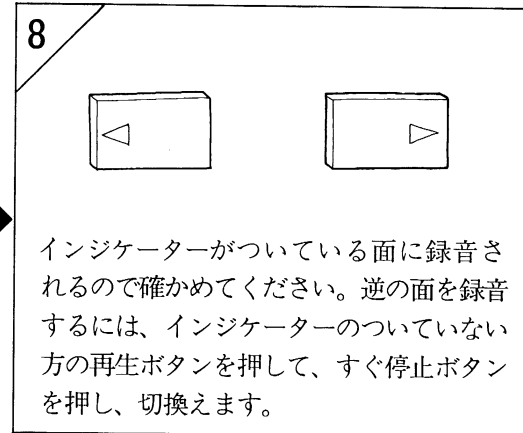
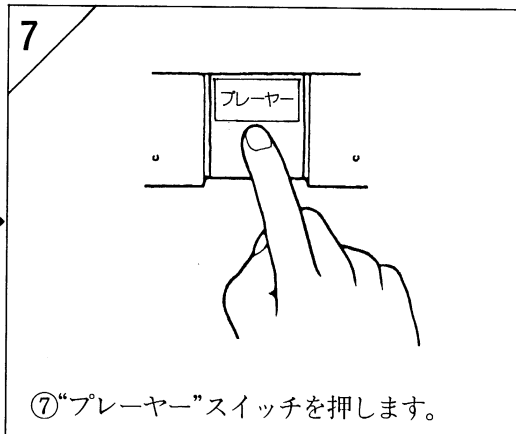
- 普通は“A”の位置にしておきます。



■レコードを同時録音するには
21ページの録音の準備をします。



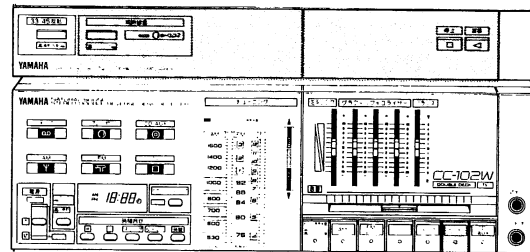
※同時録音ボタンを使わずにレコードを録音する方法は25ページを。



■同時録音中は

- レコード演奏が終わると、テープは自動的に約4秒の無録音部分を作ったあと、一時停止の状態になります。
 - キューレバーを立てたり、同時録音ボタンを“切”にしたときも、テープは一時停止され、ふたたび録音するにはレバーをたおしたり、ボタンを“入”にします。
 - デッキ側で録音を止めても、レコード演奏はそのまま続きます。
- ※同時録音ボタンを使わないときは、必ず“切

”にしてください。レコード演奏したときに、テープ2にテープが入っていると自動的に録音されてしまいます。



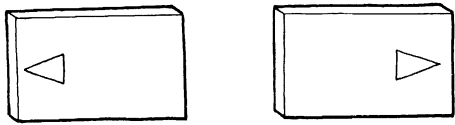
■ダビング（テープから別のテープへ録音）するには

21ページの録音の準備をします。

6

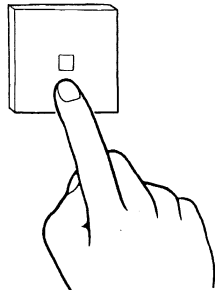
テープ1にお好きなテープを入れ、テープ2に録音用のテープを入れます。
再生の準備をしてください。
●くわしくは、17～18ページ。

7



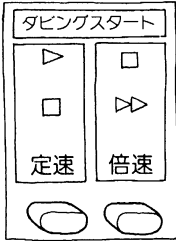
インジケーターがついている面に録音されるので確かめてください。逆の面を録音するにはインジケーターのついていない方の再生ボタンをおして、すぐ停止ボタンを押し、切換えます。
●両面録音をするときは“◀”から始めると出来ませんので、必ず“▶”の方から録音を開始して下さい。

8



テープ1と2の停止ボタンを押します。
●停止状態にしないと、ダビングボタンは動きません。

9

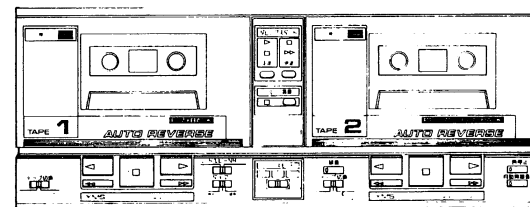


定速または倍速ボタンを押します。
●ダビングが始まります。

■ダビングボタン

- グラフィックイコライザーや、ドルビーNRスイッチは動きません。
- 入力切換スイッチを切換えて、他のものを聞いても、録音に影響しません。
- テープ1の停止ボタンを押すと、両方のテープが止まります。
- どちらかのテープが終わると、両方とも自動的に止まります。

●ダビングボタンを使わずにダビングする方法は25ページを。



■同時録音ボタンを使わないでレコードを録音するには

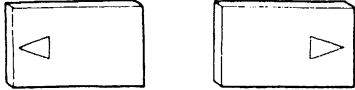
21ページの録音の準備をします。

6

14ページの1～4番の操作をしてレコードを演奏します。



7



録音したい曲が始まる少し前に、テープ2の録音したい面の再生ボタンを押します。
●録音をやめるときは、テープ2の停止ボタンを押します。

■ダビングボタンを使わないでダビングするには

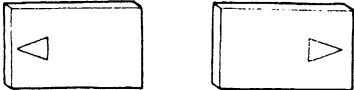
21ページの録音の準備をします。

6

17ページの1～9番の操作をしてテープ1でテープを再生します。



7



録音したい曲が始まる少し前に、テープ2の録音したい面の再生ボタンを押します。

●このときは、グラフィックイコライザー、ドルビーNRスイッチ、入力切換えスイッチは録音に影響します。

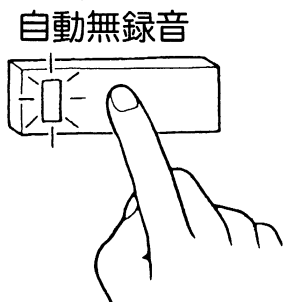
●録音をやめるときは、両方の停止ボタンを押して止めます。

■YMSのために曲間を作りましょう。

音楽を録音するとき、YMS（自動頭出し）ができるように、曲と曲の間に約4～5秒の無録音部を作っておきます。

録音中の曲が終わったところで、自動無録音ボタンを押します。

●自動的に約4秒間の無録音部分をつくってから、テープは一時停止の状態になります。

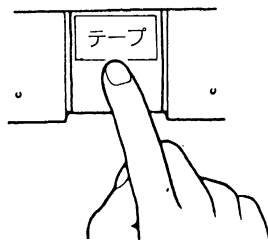


■録音したテープの音を消すには

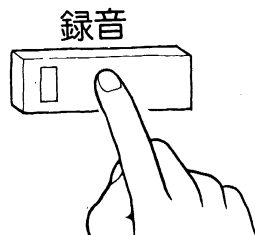
録音済みのテープに新しく録音すると、前の音を消して新しい音が録音されますが、録音しないで前の音だけ消すことができます。

●そのとき、テープ1は停止になっているか、マイクはつないでないか確かめてください。

①テープボタンを押します。



②テープ2に音を消したいテープをいれ、録音ボタンを押します。

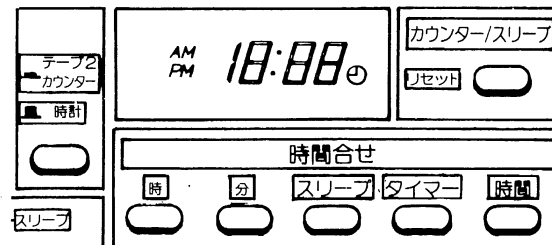


③消したい面の再生ボタンを押して、消去を始めます。

●途中でやめるときは、停止ボタンを押します。

■テープカウンターを使うには

テープ2のテープカウンターとして動作します。テープ1では動きません。



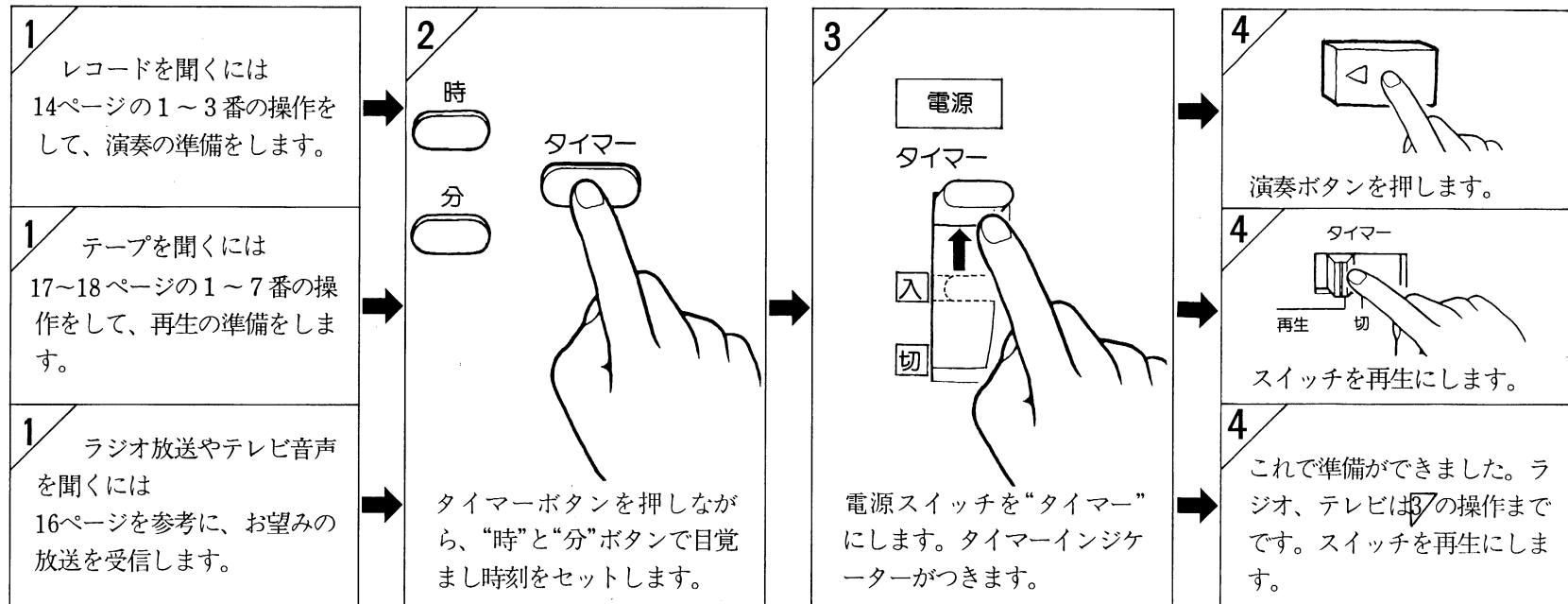
●テープの“▶”の方向で数字がふえ、“◀”の方向で数字がへります。

●数字を“000”にもどすときは、“カウンター/リセットボタン”を押します。

●テープカウンターを使って、録音内容とその数字をメモしておく、聞きたい部分をさがすときや、録音するときの目安となります。

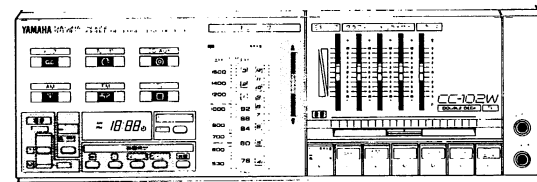
便利なタイマー、使い方をマスターしましょう

■お望みの時刻（目覚まし時刻）に演奏や放送が聞けます。



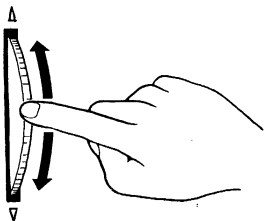
- 目覚まし時刻をセットしたあと、タイマーを中止させたいときは、電源スイッチを“切/スリープ”にします。
- 目覚まし時刻になると、自動的に演奏や放送が始まります。演奏が始まってから2時間すぎると、自動的に電源が切れます。そのあとも聞きたいときは、電源スイッチを“入”にします。

- テープの目覚まし再生を使用しないときは、タイマー再生/録音スイッチを“切”にしておいてください。電源が入ったときに、テープ演奏になったり、以前に録音されたところを消してしまいます。



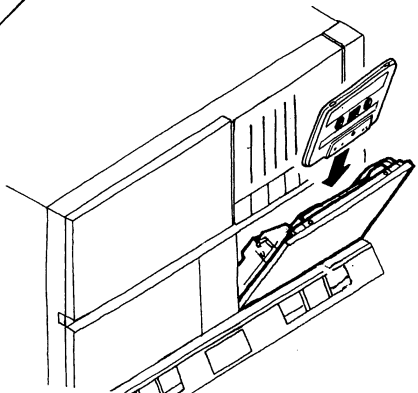
■お望みの時刻（留守中）にラジオ放送やテレビの音声を録音することができます。

1



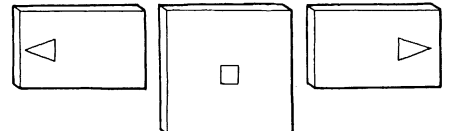
16ページの1～3番の操作をして、お望みの放送局を選局します。

2



テープ2に録音用のテープを入れます。

3



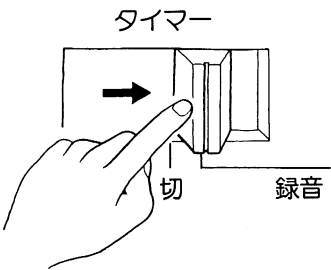
テープがすすむ面の再生ボタンを押して、すぐ停止ボタンを押します。

4

録音を始める時刻にセットします。(27ページの2と3番の操作)

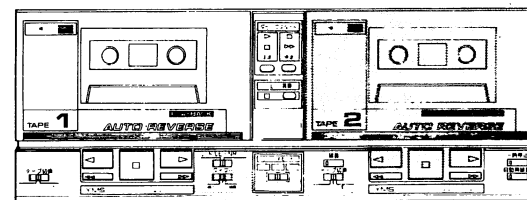
- 録音したい番組などが始まる1～2分前にセットしておくと、より確かな録音ができます。

5



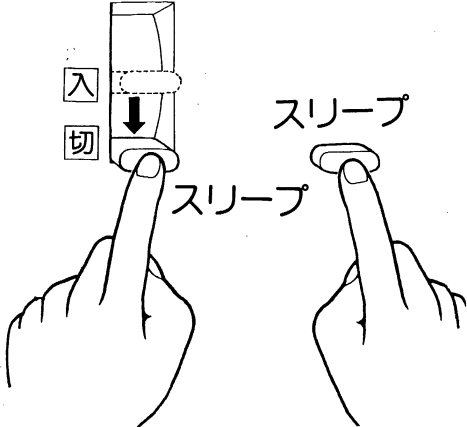
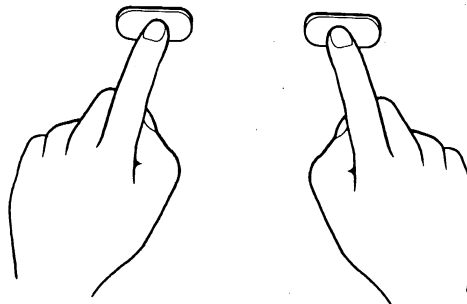
タイマー再生／録音スイッチを“録音”にします。

- 録音が始まって2時間すぎると、自動的に電源が切れます。
- ※タイマーを使って録音しないときは、タイマー再生／録音スイッチを“切”にしておいてください。



お好きな時間にスイッチ・オフ (スリープ機構の使いかた)


■レコード、テープ、ラジオ放送やテレビ音声を聞きながら、おやすみになれます。
テープカウンタースイッチが“切■”になっていないと、スリープ機構は動きません。

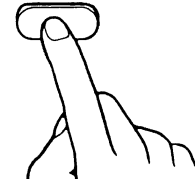
<p>1 レコードを聞くには レコードを演奏します。(くわしくは14ページ)</p>	<p>2 タイマー 入 切 スリープ スリープ</p>  <p>スリープボタンを押しながら、電源スイッチを“切/スリープ”にします。 ●1時間後に電源が切れます。</p>	<p>3 分 スリープ</p>  <p>1時間以内にセットしたいときには スリープボタンを押しながら“分”ボタンを 押して、時間を短くセットします。</p>
<p>1 テープを聞くには テープを再生します。(くわしくは17~18ページ)</p>		
<p>1 ラジオ放送やテレビ音声を聞くには お望みの放送を受信します。(くわしくは16ページ)</p>		


- スリープ時間が過ぎると、本体の電源が切れます。
- スリープセット後に、途中で止めたいときは、“カウンター/スリープリセット”ボタンを押すとスリープは解除され、電源が切れます。
- スリープ時間をセットしたあとでも、時間表示部は時刻を表示しています。残り時間を確かめるときは、スリープボタンを押します。

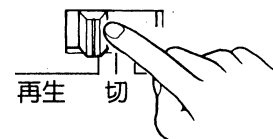
タイマーとスリープ機構を同時に使うと



■テープやラジオ放送、テレビ音声を聞きながらおやすみになり、そのまま次の朝、目覚ましとして聞けます。
テープカウンタースイッチが“切Ⅰ”になっていないと、スリープ機構は動きません。


1 テープを聞くには
テープを再生します。(くわしくは17~18ページ)
●リバースモードスイッチを“”にしておきます。

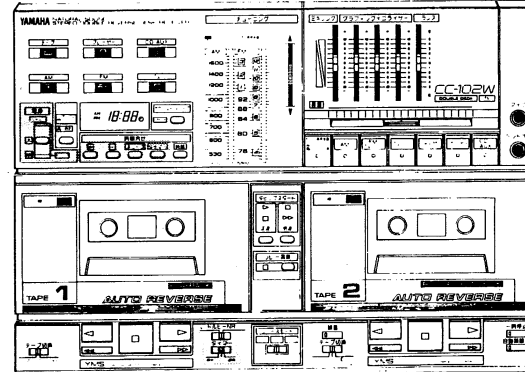
2 時
分
タイマー

タイマーボタンを押しながら“時”と“分”ボタンで、目覚まし時刻をセットします。

3 スリープ
タイマー
入
切

スリープボタンを押しながら、電源スイッチを“タイマー”にします。

4 再生 切

タイマー再生/録音ボタンを“再生”にします。
●これで準備ができました。ラジオ、テレビは3番までです。

5 分
スリープ


スリープを1時間以内にセットしたいときは、スリープボタンを押しながら“分”ボタンを押して、時間を短くセットします。

- テープを聞くとときは、リバースモードスイッチを“”にしておいてください。もしおやすみ前にテープがオートストップすると、タイマー開始時刻になってもテープ演奏が始まりません。
- スリープだけを途中でやめるときは、カウンター/スリーププリセットボタンを押します。
- タイマー開始時刻から2時間すぎると、電源が切れます。そのあとも続けて聞きたいときは、電源スイッチを“入”にします。



ヘッドホンやマイクのつなぎかたは

■ヘッドホンで音を聞くには



ステレオ標準プラグ (直径6.3mm) 付ヘッドホンを使用してください。
(インピーダンス 8 Ω ~ 150 Ω)

- ヘッドホン使用中は、スピーカーからの音は聞こえません。

■マイクを使うには

<p>1</p> <p>①音量つまみを“0”にします。</p>	<p>2</p> <p>マイク端子につなぎます。 ●マイクのスイッチを入れます。</p>	<p>3</p> <p>ミキシングつまみを“マイク”にします。</p>	<p>4</p> <p>音量 マイクのテストをしながら、 適当な大きさにします。</p>
---------------------------------	--	-------------------------------------	--

録音するときは、21ページの操作をしてからテープ2の◀または▶ (再生) ボタンを押します。

- マイクは、標準プラグ (直径6.3mm) 付低インピーダンス、感度-74dB 前後のものを使ってください。

■マイクとミュージックソースをミキシングするには

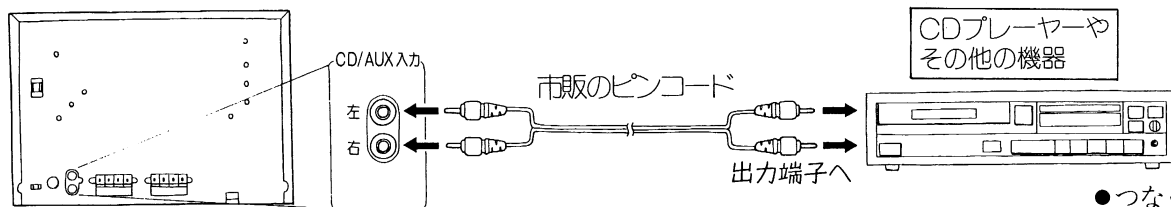
- マイクをつなぎます。

<p>1</p> <p>放送を受信します。</p>	<p>2</p> <p>マイクをテストしながら、放送や演奏の音量とのバランスを調整します。</p>
<p>1</p> <p>テープ1を再生します。</p>	
<p>1</p> <p>レコードを演奏します。</p>	

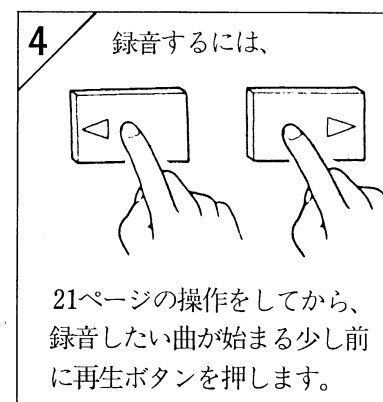
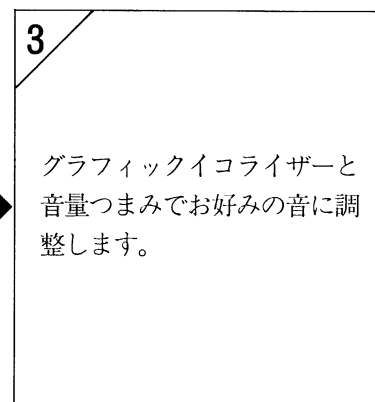
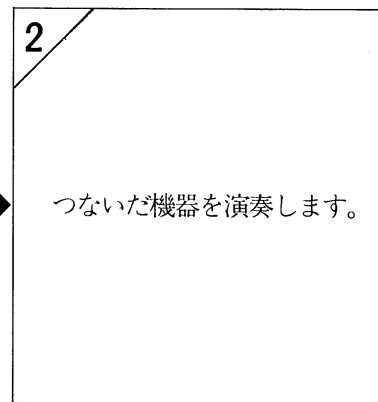
録音するときは、21ページの操作をしてから、テープ2の◀または▶ (再生) ボタンを押します。
※ダビングボタンを使ってダビングしているときは、マイクの音を重ねることはできません。

ほかの機器とも使えます

■CD/AUX入力端子に、他の機器をつないで使うには



●つなぐ前に電源スイッチを“切/スリープ”にします。また音量つまみを“0”にします。



●ラジオ放送やテレビ音声を聞くときは、CDプレーヤーの電源スイッチを切ってください。雑音が入ることがあります。

カセットテープについて

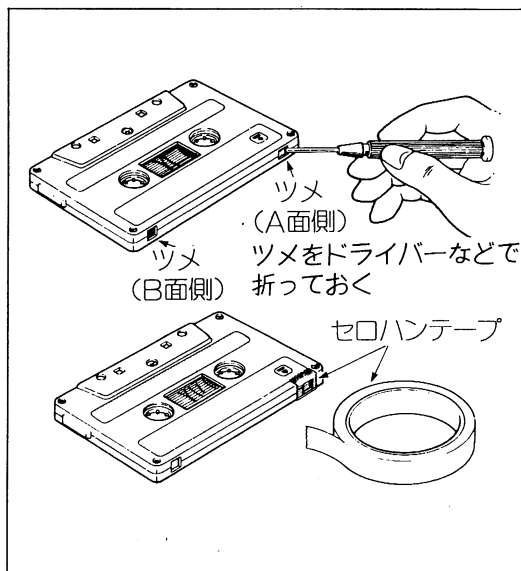
■カセットテープの録音時間の種類

カセットテープの型名は、両面往復時間を“分”単位で表示しています。

種類	録音再生時間		テープの長さ(m)
	片道(分)	往復(分)	
C-46 (C-45)	23	46	68
C-60	30	60	90
C-90	45	90	135

※C-120テープはテープが薄いため、音質面でも一般録音には適当ではありません。できるだけ上記のテープをお使いください。

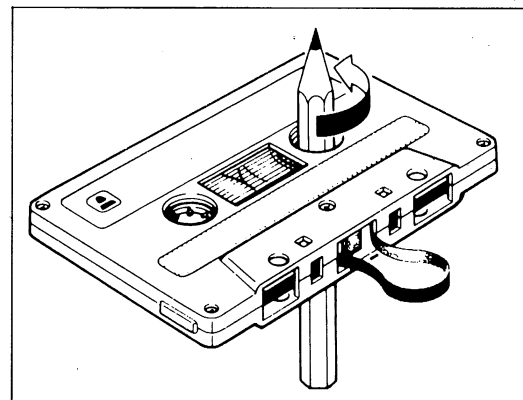
■録音を誤ってけさないために



カセットテープの消去防止用ツメを取りさっておくと、録音ができなくなりますので、録音内容をいつまでも保存することができます。ツメを折ったテープに再び録音したいときは、セロハンテープなどで穴をふさいでください。

■テープのたるみを直す

テープがとび出していたり、たるんだまま使うとテープが切れたり、カセットホルダー内でからみつくことがあります。図のように鉛筆などで巻きとってください。



■カセットテープの保管は

カセットケースに入れて、直射日光(高温)や湿気、ホコリの多い所を避け、磁気のある所(テレビやスピーカーの上や近く)には置かないでください。テープをいためたり、録音が消えることがあります。

■著作権について

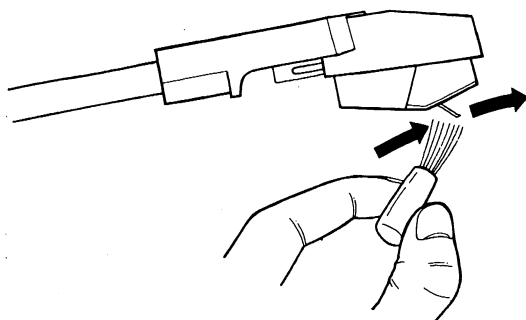
あなたが録音したものは個人で楽しむなどのほかは著作権上、権利者に無断で使用できません。

お手入れは

■レコード針を清掃してください。

針にホコリやゴミがつかますと、雑音ができたり、針先やレコードをいためる原因となります。市販のクリーナーブラシでホコリやゴミを矢印の方向にはきとります。

※針先をいためますので、矢印の反対方向や横(正面から見て左右)にはきとらないでください。

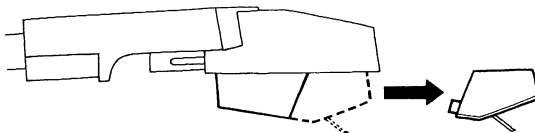


■レコード針を交換してください。

この製品に使用しているダイヤ針の寿命は約500時間です。レコードを傷つけたり、よい音がでなくなる原因となりますので、早めに交換してください。

●交換用レコード針は、N-102を使用してください。

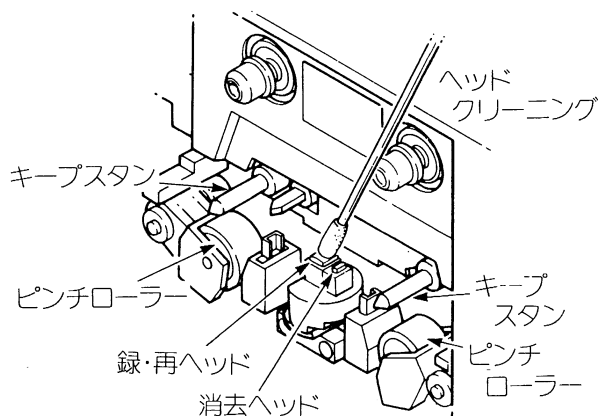
●レコード針を交換するときは、トーンアームに無理な力がかからないよう注意してください。



- ①レコード針の両側をつまんで引抜きます。
- ②新しいレコード針の取り付けは逆に差し込みます。

■時々ヘッド部の(テープがあたる部分)清掃をしてください。

ヘッド部が汚れると、音が小さくなったり、きれいな録音ができなくなります。約15時間使用しましたら、ヘッドやピンチローラー、キャプスタンをヘッドクリーニング棒で清掃してください。



■時々ヘッドの消磁をしてください。

長時間(約30時間)使っていると、ヘッド部が少しずつ磁気をおびてきて、高音がでなくなったり、雑音が多くなってきます。市販のヘッド消磁器で消磁してください。

■キャビネットやダストカバーのお手入れは、

化学ぞうきんやベンジン、シンナーでふきますと“クモリ”“ヒビワレ”などをおこしますので、やわらかい乾いた布でふくか、洗剤を薄めた水をしみこませた布でふき、そのあと乾いた布で水分をふきとってください。

■付属品

- Eレコードアダプター×1(プレーヤー部に同梱)
 - FM/TV用アンテナ×1
 - AM用ループアンテナ×1
- (センター部)
(本体)に同梱

著作権について

あなたが、放送やレコード、その他の録音物から録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

*放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。

*従って、それらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。

*使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC)の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

■日本音楽著作権協会

本部・関東支部 TEL. 03(502)6551

〒105 東京都港区西新橋1-7-13

北海道支部 TEL. 011(221)5088

〒060 札幌市中央区南一条西2-7 長銀ビル

東北支部 TEL. 0222(64)2266

〒980 仙台市中央2-1-7 仙台三和ビル

北陸支部 TEL. 0762(21)3602

〒920 金沢市香林坊2-3-25 金沢日産館

静岡支部 TEL. 0542(54)2621

〒420 静岡市追手町9-22 読売静岡ビル

中部支部 TEL. 052(586)1155

〒450 名古屋市中村区名駅4-27-20

新名古屋ビル南館

関西支部 TEL. 06(244)0351

〒542 大阪市南区南船場4-3-11 豊田ビル

中国支部 TEL. 082(249)6362

〒730 広島市中区大手町1-2-1

広島東京海上ビル2 F

四国支部 TEL. 0878(33)0362

〒760 高松市天神前10-5 高松セントラルスカイビル

九州支部 TEL. 092(441)2265

〒812 福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル

参考仕様

■アンプ部

回路方式……OTLアンプ
実用最大出力…20W + 20W(EIAJ)
全高調波歪率…0.2%(8Ω、5W出力時)

■チューナー部

受信周波数……TV(4~12CH):175~222MHz
FM/TV(1~3CH):76~108MHz
AM:530~1,605KHz
実用感度……TV(4~12CH):5.5μV(SN30dB/75Ω)
FM/TV(1~3CH):4μV(SN30dB/75Ω)
AM:400μV/m(ループアンテナ)

■ダブルカセットデッキ部

トラック方式…コンパクトカセットステレオ
録音方式……交流バイアス(テープ2のみ)
消去方式……交流消去(テープ2のみ)
ヘッド……

テープ1	再生ヘッド×1
テープ2	録音・再生ヘッド×1 消去ヘッド×1

モーター……電子制御DCモーター×2
(テープ1×1、テープ2×1)
早送り時間……約110秒(C-60テープにて)
周波数範囲……
LH:25~15,000Hz(EIAJ)

CrO₂:25~16,000Hz(EIAJ)

METAL:25~17,000Hz(EIAJ)

S/N比……ドルビーNR OFF:57dB
(EIAJ、メタルテープ)
ドルビーNR ON:67dB
(EIAJ、メタルテープ)

■レコードプレーヤー部

型式……ベルトドライブ式フルオート
モーター……電子ガバナ付直流モーター
駆動方式……ベルトドライブ
回転数……33¹/₃、45r.p.m.
S/N比……50dB(DIN-B)
カートリッジ…ムービングマグネット型
レコード針……N-102
適正針圧……4.5g

■スピーカー部

型式……バスレフ型キャビネット
使用スピーカー…16cmウーハー
5cmツイーター
最大許容入力…35W(ミュージック)
定格入力……20W
インピーダンス…8Ω
再生帯域……60~20,000Hz

■レシーバー部

タイマー……デジタルクロック式(クォーツ制御)
1日1回ON可能(2時間後OFF)
スリープ1時間
入力端子……マイク:3mV(600Ω)
直径6.3mm標準ジャック×1個
専用プレーヤー
DINジャック×1個
CD/AUX入力:150mV(47KΩ)
RCAピンジャック×2個
出力端子……ヘッドホン:(8~150Ω)
直径6.3mmステレオ標準ジャック×1個
その他の端子…FM/TV用アンテナ
AM用アンテナ
屋外アンテナアース
電源……100V AC、50/60Hz
消費電力……AC61W(電気用品取締法にもとづく)
最大外形寸法…330(幅)×230(高さ)×356(奥行)mm
(EIAJ)[センター部(本体)]
330(幅)×95(高さ)×350(奥行)mm
(EIAJ)[プレーヤー部]
203(幅)×358(高さ)×207(奥行)mm
(EIAJ)[スピーカー部]
重量……約7.2kg[センター部(本体)]
約3kg[プレーヤー部]
約2.7kg(1本)[スピーカー部]

※仕様および外観は、予告なく変更されることがございます。

“故障かな？”と思ったら…

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
スピーカーから音がでない	スピーカーコードが端子からはずれている	コードをしっかりとつないでください
	ミキシングつまみが“マイク”になっている	“ソース”にしてください
低音がでない。不自然な音で音像が定しない	スピーカーの極性(+、-)が合っていない	コードを正しくつないでください
ターンテーブルが回らない	ターンテーブルのベルトがはずれている	ターンテーブルのベルトを正しくかけてください
レコード演奏中に雑音が多く“チリチリ、パチパチ”という音がでる	針先にホコリやゴミがついている	針先を清掃してください
	レコード針が古い(摩耗している)	新しい針に交換してください
	レコード自体にキズがあったり、ホコリやゴミがついている	レコードを清掃したり、新しく交換してください
レコード演奏中、音がふるえたり、ハウリング(ワーンという音)がでる	プレーヤーがスピーカーに近すぎたり、振動が伝わって共振している	スピーカーを離して、振動の少ない安定した所に置いてください
FM放送やテレビ音声に“ザー”という音が入る	TV/FMアンテナを“近”の端子につないでいる	“遠”の端子につないでください
	アンテナの方向が悪い	アンテナの方向を変えてください
AM放送に“ザー、ビー、シー”などの音が入る	テレビなどのそばで同時に使用している	テレビを消すか、または本体を離してください
録音ボタンを押してもインジケータがつかない	カセットテープが入っていない	カセットテープを入れてください
	カセットテープの消去防止用ツメが取り途かれている	ツメが取れている部分を、セロハンテープなどでふさいでください
録音、再生のとき雑音が多かったり、音がとぎれたり、ワウ(音のふるえ)が多い	ヘッド部が汚れている	ヘッド部を清掃してください
	テープがたるんでいる	テープを巻いてください
	キャプスタン、ピンチローラーなどが汚れている	それぞれを清掃してください

ヤマハ ホットライン サービス ネットワーク

ヤマハ ホットライン サービス ネットワークは、本機を末長く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

●保証期間

お買い上げ日より1年間です。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最奇りのYAMAHA 電気音響製品サービス拠点へお持ちいただければ、出張料などの経費の点でお徳です。(右欄サービス拠点の所在地と電話番号をご参照ください。)

●ステレオの状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、ステレオの状態をできるだけ詳しくお知らせください。またセットの品名、製造番号などもあわせてお知らせください。

※品名、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

■YAMAHA 電音サービスセンター

(電気音響製品の修理受付および修理品お預かり窓口)

- 北海道 〒065 札幌市東区本町1条9-3
TEL(011)781-3621
- 仙台 〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F
TEL(0222)36-0249
- 東京 〒211 川崎市中原区木月1184
TEL(044)434-3100
- 新潟 〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F
TEL(0252)43-4321
- 浜松 〒432 浜松市東伊場2-13-12
TEL(0534)56-9211
- 名古屋 〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2
日本楽器流通センター3F TEL(052)652-2230
- 大阪 〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内
TEL(06)877-5262
- 四国 〒760 高松市丸亀町8-7
TEL(0878)51-7777・(0878)22-3045
- 広島 〒731-01 広島市安佐南区祇園町西原2205-3
TEL(082)874-3787
- 九州 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-14
TEL(092)472-2134

本社

営業技術課 電音サービスセンター 〒430 浜松市中沢町10-1
TEL(0534)65-1111

■ヤマハオーディオ日本楽器直営店

- 札幌店 〒064 札幌市中央区南十条西1丁目
ヤマハセンター TEL(011)512-6126
- 仙台店 〒980 仙台市一番町2-6-5
TEL(0222)27-8517
- 銀座店 〒104 東京都中央区銀座7-9-14
TEL(03)572-3133
- 浜松店 〒430 浜松市鍛冶町321-6
TEL(0534)54-4327
- 名古屋店 〒460 名古屋市中区錦1-18-28
TEL(052)201-5153
- 心斎橋店 〒542 大阪市南区心斎橋筋2-39
TEL(06)211-8869
- 神戸店 〒650 神戸市中央区元町2-7-3
TEL(078)391-7651
- 海外拠点 ロスアンゼルス・メキシコ・ハンブルグ・スウェーデン・シンガポール・フィリピン

日本楽器製造株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1 TEL.(0534)65-1111(代)

住所および電話番号は変更になる場合があります。

